

# 令和元年度事業報告



社会福祉  
法人

長野市社会福祉協議会



# 目 次

## I 実施事業と重点目標に対する評価

### 事業理念 1

住民参加・協働による福祉を基盤としたまちづくり…………… 1

### 事業理念 2

その人らしい生き方や暮らしを尊重した支援の実施…………… 15

### 事業理念 3

状況に応じた柔軟で迅速な取組の実施…………… 23

### 経営理念 1

地域住民に分かりやすい機能的な組織体制の確立…………… 25

### 経営理念 2

健全な財政運営の実現…………… 27

## 付属明細書

II 経営理念に関する別掲資料…………… 29

III 事業実績（資料）…………… 37

# I 実施事業と重点目標に対する評価

事業理念1 住民参加・協働による福祉を基盤としたまちづくり

運営方針ア 住民参加・協働の中心の場であり、小地域福祉活動推進の基礎組織となっている住民自治協議会

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 1-ア-01 住民自治協議会との協働関係の構築  基本施策 1-ア-02 住民自治協議会への支援  基本施策 1-ア-03 地域福祉ワーカーへの支援	○介護保険法の地域支援事業を踏まえ、小地域における住民主体の福祉活動を推進するため、地区担当職員を中心に、地区訪問等を実施し、住民自治協議会への支援を強化します。 ○住民自治協議会福祉担当部会の取組の充実のため、継続的な支援を行っていきます。  ○地域共生社会の実現を図るため、住民自治協議会で行っているサロン活動等の取組の支援を強化します。	○住民自治協議会との連携体制をより強固なものにするため、地区担当制により、積極的に福祉関係部会の定例会のほか、地区地域福祉活動計画の見直し及び進捗管理や、介護予防・生活支援検討会に参加するなど、継続的に支援を行います。 [地区担当制による職員派遣等の支援]	1	住民自治協議会福祉関係部会関係者情報交換会の開催【地域福祉課】
			2	住民自治協議会福祉関係部会事務担当者会議の開催【地域福祉課】
			3	地区担当制による職員派遣等の支援【地域福祉課】
			4	福祉のまちづくりを進めるための実践事業【地域福祉課】
			5	地区地域福祉活動計画の見直し及び進捗管理の支援【地域福祉課】
			6	住民福祉活動事例集の作成【地域福祉課】
			7	地域福祉ワーカーへの支援【地域福祉課】
			8	社会を明るくする運動推進事業【総務課】
			9	災害見舞金事業【総務課】

が、協議・実践する機能を発揮することができるよう支援するとともに、協働によるまちづくりを実践します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
住民自治協議会の役員を対象に、組織体制や活動に対して情報交換を行う。	本年度は市福祉政策課と共催で、地区役員、地域福祉ワーカーを対象に他地域の取組について講演を聞き、その後グループワークを行った。 〔実績〕 ○第1回 8月2日(金) 14:00～16:00、参加者68人 ○第2回 2月7日(金) 災害対応により中止	○住民自治協議会への支援により、新しい総合事業に対する住民自治協議会の福祉関係部会や地域福祉ワーカーの理解が深まった。
住民自治協議会活動の事務を担当する職員を対象に、各種事務手続き等に関して説明を行う。	〔実績〕 ○日時 5月8日(水) 14:00～16:00 ○会場 ふれあい福祉センター ○参加者数 45人	既存の事業に介護予防の視点を盛り込んだ取り組みや、生活支援体制整備として検討会が設置されるなど、住民主体の福祉活動が起きてきている。
地域福祉推進担当の職員の担当する地区を決め、その職員が住民自治協議会の役員会等の各種会議や事業の企画・立案等の相談に継続的に応じる。	〔実績〕 ○職員派遣回数 167回(H30 184回) 内訳:活動計画策定・進行管理55回(H30 45回) 地区訪問11回(H30 10回) その他101回(H30 129回)	
住民自治協議会が行う福祉活動(福祉移送、サロン、子育て支援等)に対して、経費の助成を行う。	各地区の実情に応じた取組に対して助成を行った。 〔実績〕 ○交付決定額 19,071千円(H30 20,024千円) (別表1)P37	
住民自治協議会が策定した「地区地域福祉活動計画」の見直しや評価にあたり、会議の進行や企画等のサポートを行う。	各地区の状況に基づき、計画見直し及び進捗管理等のサポートを行った。 〔実績〕 第二、古牧、三輪、柳原、長沼、川中島、中条地区の7地区	
各地区の福祉推進員活動の事例をまとめた冊子を作成し、配布する。	事業No.15長野市地域福祉推進セミナー開催事業に併せ、各地区から福祉推進員の活動紹介用紙を集約し、セミナー会場で展示を行うとともに、データ化したものを各地区へ配布した。 〔実績〕 ○活動用紙提出地区 22地区(H30 25地区)	○福祉のまちづくりを進めるための実践事業の実績からも、サロン活動を行う団体が増加している。
地域福祉を推進する担い手として各地区に配置されている地域福祉ワーカーの活動への助言など支援を行う。	市福祉政策課主催の地域福祉ワーカー連絡調整会議に出席し、地域福祉ワーカーの活動に対する助言等を行った。 第1回5月9日、第2回6月3日、第3回8月3日、 第4回10月25日(中止)、第5回12月6日(中止)、 第6回3月13日(中止) 市地域包括ケア推進課主催の生活支援コーディネート業務研修、自主学習会に出席し、生活支援コーディネーターとしての活動に対する助言等を行った。 8月8日、10月3日、12月2日、2月6日	
すべての国民が犯罪・非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪の無い明るい社会を築こうとする運動。	第69回社会を明るくする運動を推進した。 〔実績〕 ○23地区 補助金交付額345,600円(H30 23地区 391,489円) ○強調月間:7月、駅前街頭広報活動 7月1日 (別表2)P37	
災害による住宅罹災・死亡及び事故による死亡に対して、長野県共同募金会、日本赤十字社長野県支部および当会の3者による見舞金品の給付を行う。	〔見舞金給付実績〕 ○住宅罹災 13件 260千円 ○事故死等 8件 140千円 計21件 400千円(H30 30件 600千円) ※県共同募金会及び日赤長野県支部と併せて給付 (別表3)P39	

運営方針イ 地域福祉活動の担い手の支援を行うとともに、関係者の連携を図ることで、地域の特性を活かした

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
<p>基本施策 1-イ-01 住民参加の支え合い活動の推進</p> <p>基本施策 1-イ-02 福祉ネットワーク構築の推進</p> <p>基本施策 1-イ-03 民生・児童委員活動への支援</p> <p>基本施策 1-イ-04 福祉推進員活動への支援</p> <p>基本施策 1-イ-05 福祉意識を高めるための機会の創出</p>	<p>○地域共生社会の実現を図るため住民一人ひとりの豊かな福祉観を醸成することで地域における福祉意識を高め、地域課題に対応した取り組みが充実するよう担い手づくりや関係者とのネットワーク構築を図ります。</p>	<p>○住民自治協議会と連携し、地域たすけあい事業を継続的に実施するとともに、地域課題に対応した取組が充実するよう担い手づくりなどの具体的な取組を行います。 [地域たすけあい事業]</p> <p>○関係者の連携を深めるため、地区のネットワーク会議へ積極的に参加します。</p>	<p>10</p> <p>11</p> <p>12</p>	<p>地域たすけあい事業 【地域福祉課】</p> <p>配食サービス受託事業 【地域福祉課】</p> <p>信州暮らしの支え合いネットワーク事業への協力・参加 【地域福祉課】</p>
		<p>○民生・児童委員や福祉推進員等への支援を行うとともに、積極的に関係者とのネットワーク構築を図ります。 [福祉推進員研修事業(全市・地区別)], [長野市地域福祉推進セミナーの開催]</p>	<p>13</p> <p>14</p>	<p>福祉推進員研修事業(全市・地区別) 【地域福祉課】</p> <p>福祉推進員の手引き・事例集の作成 【地域福祉課】</p>
	<p>○地域を取り巻く福祉の諸問題について考え、福祉に対する意識を高める機会をつくります。</p>	<p>○継続して取り組んでいる孤立防止活動や新しい総合事業の展開を踏まえ、地域の福祉関係者への働きかけを実施します。 [孤立防止活動の推進]</p>	<p>15</p> <p>16</p>	<p>長野市地域福祉推進セミナーの開催 【地域福祉課】</p> <p>孤立防止活動の推進 【地域福祉課】</p>
			<p>17</p>	<p>長野市社会福祉大会の開催 【総務課】</p>

総合的な支援体制を構築します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>高齢者、障害者等に対して、地域住民の協力を得て有償による家事援助及び福祉移送サービスを行う事業。住民自治協議会との協働により実施する。</p>	<p>市内31地区(25事業所)で実施した。(長野市地域包括ケア推進課からの補助金) 〔実績〕 ○実施件数 40,275件(H30 40,690件) 内訳:家事援助 4,490件(H30 4,383件) 福祉移送 35,785件(H30 36,307件) (別表4)P39</p>	<p>○協会会員不足や、高齢化については継続した課題であるが、地域における支え合いという福祉観の広がりとともに、家事援助の件数が増加傾向であり、地域課題の解決の一端を担っていると考え。</p>
<p>食事づくりが困難な高齢者や障害者への昼食の配食を行う。長野市からの受託事業。</p>	<p>配食サービスを利用する方の希望に応じて、週一回や隔日などで昼食の配達を行った。 〔実績〕 ○鬼無里地区 1,408食 延べ139人(H30 1,139食、延べ127人)</p>	<p>○福祉移送については、高齢ドライバーによる交通事故が社会問題となってきたこともあり、地区独自の交通安全研修のほか、市社協においても実践的な安全運転研修を継続することで安全な運行を保つことができている。</p>
<p>県内の住民参加型有償在宅福祉サービスを行っている団体により組織されている連合会(長野県社会福祉協議会が事務局)への協力・参加する。</p>	<p>〔実績〕 「お互いさまの地域づくりを考えるつどい〜くらしの足」どうする〜 7月12日(金) 会場:塩尻総合文化センター 職員3人参加</p>	<p>○地区で開催される福祉推進員研修会等へ積極的に出席するとともに各事業を実施することにより、担い手づくりや関係者とのネットワーク構築を図ることができた。</p>
<p>住民自治協議会が設置する福祉推進員を対象に、福祉推進員の役割等の基礎的事項について、住民自治協議会を単位及び各地区の福祉推進員活動の事例を学ぶなどの全体研修会を行う。</p>	<p>〔実績〕 ○福祉推進員を対象とした研修会 17回(H30 12回) ○全体研修 長野市地域福祉推進セミナー開催事業に併せて実施した。</p>	<p>○研修や大会等を重ねたことにより、住民の福祉に対する理解が深まり、事業の協力者も増えつつある。</p>
<p>福祉推進員の役割等の基礎的事項をまとめた手引きを作成し、福祉推進員に配布する。</p>	<p>「福祉推進員活動の手引きー地域で福祉活動に取り組もうー」を作成・配布した。 〔実績〕 ○作成・配布部数 2,000部(H30 2,000部)</p>	<p>○研修や大会等を重ねたことにより、住民の福祉に対する理解が深まり、事業の協力者も増えつつある。</p>
<p>長野市地域福祉計画に基づき、市民、福祉関係機関、行政等が一同に会し、地域福祉の推進に関する事柄について学び、意見交換を行う。</p>	<p>〔実績〕 ○日 時 6月21日(金)13:30~16:30 ○会 場 長野市若里文化ホール ○参加者数 約380人 ○内 容 ①基調講演(講師 石井布紀子さん) 「広がる笑顔と可能性 災害にも強い地域の 支え合い活動」 ②パネルディスカッション 「災害時にも生きるつながりづくり まちづくり」 山崎博之さん 村田憲明さん 平野歌織さん</p>	<p>○研修や大会等を重ねたことにより、住民の福祉に対する理解が深まり、事業の協力者も増えつつある。</p>
<p>孤立を見逃さない地域づくりに向け、市と協働し取り組んでいる「孤立防止・見守りネットワーク事業」を推進するとともに、地域の福祉関係者である住自協役員や民生委員・児童委員、福祉推進員等へ孤立防止に向けての意識啓発への働きかけを行う。</p>	<p>「長野市孤立予防・見守りネットワーク協議会」(市主催、7月4日開催)へ出席し協力をした。また、各地区福祉推進員研修及び地域福祉推進セミナー(6月21日開催)において、孤立防止に向けての意識啓発を行った。</p>	<p>○研修や大会等を重ねたことにより、住民の福祉に対する理解が深まり、事業の協力者も増えつつある。</p>
<p>住民の福祉活動に関する意識向上と啓発を目指し、長野市社会福祉大会を開催する。</p>	<p>「誰もがみんな自分らしく暮らすために 支え合いの地域づくり」を大会テーマとし、8月27日に第65回長野市社会福祉大会をふれあい福祉センターホールにて開催した。被表彰者を含めおよそ150人が参加した。 (別表5)P39</p>	<p>○研修や大会等を重ねたことにより、住民の福祉に対する理解が深まり、事業の協力者も増えつつある。</p>

			18	長野市民生委員児童委員協議会への支援(事務受託) 【総務課】
--	--	--	----	-----------------------------------

運営方針ウ 市域・小地域における地域活動の拠点を整備し、「福祉共育(教育)」を通じて、あらゆる人がそれぞれ

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 1-ウ-01 ボランティア・地域活動拠点の整備	○身近な地域におけるボランティア活動の推進を図るため、住民自治協議会と協働し、地域で活動するボランティアの養成や講座の開催を通じ、拠点整備及び多様な居場所づくりに取り組みます。	○地区ボランティアセンターの開設・運営支援及びまちの縁側事業など地域の多様な居場所づくりを推進します。 [地区のボランティア活動拠点整備への支援]	19	地区のボランティア活動拠点整備への支援 【地域福祉課】
基本施策 1-ウ-02 地域のつながりを活かした地縁型ボランティアの養成			20	ボランティアセンター運営事業 【地域福祉課】
基本施策 1-ウ-03 多様性のあるボランティアの養成			21	老人福祉センター管理経営事業 【地域福祉課】
			22	高齢者生きがいづくり事業 【地域福祉課】
			23	介護予防関連事業 【地域福祉課】
		○健康寿命を延ばすための取組として、これまで以上に体操等の介護予防への取組の充実を図ります。[介護予防関連事業]		



<p>長野市民生委員児童委員協議会の事務局を受託し、37地区(法定単位)民生委員児童委員協議会の連携・活動推進および情報交換を図るとともに関係機関・団体等との連絡調整等を行う。</p>	<p>会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 令和元年東日本台風災害において、被災者に寄り添い、支援する活動を実施した。 (事務受託団体一覧 別表17)P49</p>	
<p>れの個性を活かして参加できる地域づくりの支援を行います。</p>		
事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>地域でのボランティア活動の拠点づくりの支援として、整備に係る経費の助成を行う。</p>	<p>地区ボランティアセンター開設支援 [助成件数] 0件(H30 0件) [開設累計] 16ヶ所</p>	<p>○住民自治協議会と協働し、地域資源の発掘等の講座を開催し、居場所づくりの取り組みに資することができた。地区ボランティアセンターについては場所の確保が困難なこと等から新たな開設には至らなかったが、今後も拠点整備に向けた支援を継続する。</p>
<p>ボランティアセンター事業の適正な運営を図るため、ボランティア団体及び学識経験者等の関係者をもって委員会を組織し、定例的に会議を開催する。また、利用者会議、ボランティアのつどい等を実施し、新たなネットワークづくりと活動の幅を広げる機会とする。</p>	<p>1 定例の運営委員会を年3回実施した。 [実施回数] 第1回 5月29日 第2回 9月26日 第3回 1月30日</p> <p>2 ボランティアのつどい 12月1日にふれあい福祉センターで開催を予定したが、令和元年東日本台風災害のため中止した。</p> <p>3 ボランティア活動振興事業助成金事業 ボランティア活動を振興し地域福祉の増進を図るため、ボランティア・市民活動をしているグループが実施する事業に対して1団体5万円を上限で助成を実施した [実績] 5団体 総額235,000円を助成</p>	
<p>高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を提供することや地域における福祉活動の場を提供する。 長野市からの指定管理事業。</p>	<p>1 指定管理制度により以下のとおり実施した。 ○三陽・安茂里・氷鉦・鬼無里・中条 (H29年度～R3年度の5年間の指定管理者) ○信州新町福祉センター管理事業 (H28年度～R2年度の5年間の指定管理者) ※氷鉦は老人憩の家を含む</p> <p>2 市からの委託により下記のとおり実施した。 ○信州新町福祉センター高齢者生きがいづくり講座業務 (別表6)P40</p>	
<p>高齢者の生きがいや余暇活動の促進を図るため、老人福祉センターが各種教養講座を実施する。</p>	<p>[実施件数] 1, 183回(H30 1, 419回) (別表6)P40</p>	
<p>高齢者が介護が必要な状態にならないよう健康づくり等に関する講座を老人福祉センターで実施する。</p>	<p>介護予防関連講座を市地域包括ケア推進課と連携し、三陽・安茂里・氷鉦・鬼無里・中条の各センターにて開催した。 [実施回数] 69回(H30 55回)</p>	

<p>○老人福祉センター等 がより地域住民に活用さ れる施設となるよう、住 民自治協議会等との連 携を図ります。 [ボランティア・地域活動 の支援]</p> <p>○サマーチャレンジボラ ンティアをはじめとする 福祉共育の実践と住民 自治協議会・公民館・学 校・企業・NPO等との連 携の強化を図ります。 [地域でのボランティア 活動体験による担い手 養成]</p>	24	ボランティア・地域活動の支 援 【地域福祉課】
	25	住民自治協議会等と連携し た地域課題対応ボランティア の開発・養成 【地域福祉課】
	26	地域でのボランティア活動体 験による担い手の養成 【地域福祉課】
	27	福祉教育・ボランティア学習 推進事業 【地域福祉課】

<p>老人福祉センターを地域福祉活動の拠点として、ボランティアの養成や活動の担い手づくりにつながるような講座を実施する。</p>	<p>ボランティアカフェやボランティア交流会、小物づくり講座など多種多様な講座や企画を開催した。 〔実施回数〕 1,205回(H30 1,611回) (別表6)P40</p>
<p>それぞれの課題に取り組むボランティアを養成するためのボランティア養成講座を開催する。</p>	<p>古里地区住民自治協議会と共催でボランティア養成講座の開催を予定したが令和元年東日本台風のため中止した。 〔実績〕 「まちの縁側講座in古里地区」 ○開催予定 10月19日(土)</p>
<p>より身近な地域で学ぶ場を設けることにより活動メニューの幅を広げるため、学習機会をもちたい地域に対して、講師を派遣したり、企画・運営支援を行う。</p>	<p>〔実績〕 15地区 延べ44回 (H30 14地区 延べ51回)  第四地区(1回)、芹田地区(2回)、古牧地区(2回)、三輪地区(3回)、吉田地区(1回)、古里地区(10回)、柳原地区(1回)、浅川地区(1回)、朝陽地区(3回)、小田切地区(2回)、七二会地区(2回)、豊野地区(2回)、戸隠地区(1回)、鬼無里地区(2回)、中条地区(11回)</p>
<p>学校における福祉教育・ボランティア学習を推進するため、福祉教育・ボランティア学習普及校の指定(事業の助成)及び普及校の連絡会議を開催するとともに、教職員研修会を支援する。</p>	<p>1 福祉教育・ボランティア学習普及校事業説明会を開催するとともに、福祉教育のあり方について研修した。 〔実績〕 ○普及校事業説明会 5月17日開催 福祉共育のつどいと同時開催 ○普及校事業交付金助成校 41校(H30 51校) 内訳:小学校26校(H30 33校)、中学校9校(H30 10校)、高校4校(H30 5校)、特別支援学校 4校(H30 3校) 助成金交付額 41校 1,124千円(H30 51校 1,350千円)</p> <p>2 福祉共育のつどい テーマ「地域の中のこんな取り組み知っていますか？」 〔実績〕5月17日開催。学校教員、地域福祉ワーカー、福祉センター、ボランティアグループなど45名参加。</p> <p>3 福祉学習、人権学習、キャリア教育など多様な場面での支援の相談に応じるため、体験学習への支援に職員の派遣、講師派遣(同行)、受入れを行った。 〔実績〕支援をした学校等 34校(H30 24校) 内訳:小学校19校(H30 5校)、中学校9校(H30 5校)、高校1校(H30 5校)その他2校(H30 9校)</p> <p>4 サマーチャレンジボランティア2019 〔実績〕 ○活動期間 7月14日～8月18日 ○受入先 74施設・団体(うち参加者あり 62施設・団体) ○参加者 272名(うちボランティア初体験者 125名) ○事前研修会 7月13日開催。参加者154名。受入先関係者48施設・団体 ○事後研修会 8月24日開催。参加者129名。受入先関係者11施設・団体</p>

	<p>○相談援助体制の強化と課題解決に向けたボランティア活動のプログラム作りを行います。 [課題別ボランティアの促進]、[ボランティア・地域づくり講座の開催]</p>	28	課題別ボランティアの促進事業※30に統合 【地域福祉課】
		29	ボランティアグループの登録・照会・相談・調整 【地域福祉課】
		30	ボランティア・地域づくり講座の開催 【地域福祉課】
		31	ボランティア情報の発信 【地域福祉課】
		32	児童館・児童センター・放課後子どもプラザの管理経営事業【総務課】
○放課後において、児童に安全で安心な居場所を提供するため、多様な体験活動等を行い、児童の自主性や、社会性及び創造性の向上を図り、健全な育成支援を行います。	<p>○児童館・児童センター及び子どもプラザの希望児童の受け入れや、増加傾向にある特別な配慮を要する児童の受け入れに伴う職員の雇用と活動拠点の確保に努めます。 ○健全な育成支援を推進するため、支援員等への実効性のある研修を実施します。 ○支援員の安定的な雇用を確保するため、職務に見合った待遇の改善を図ります。 ○児童館・児童センターの指定管理者の更新にあたり、事業が継続できるよう引き続き指定管理者の指定を目指します。 [児童館・児童センター・放課後子どもプラザの管理経営事業]</p>	33	ふれあい福祉センター管理経営事業 【総務課】

<p>課題に応じたボランティア活動や人材を育成するためのボランティア養成講座を行う。</p>		
<p>ボランティアに関する様々な情報を収集整理し、情報の提供や需給調整(コーディネート)を行う。</p>	<p>ボランティア活動や、様々な相談に対応し、需給調整を行った。 [実績] ○登録数 1,370団体 80,038名(H30 1,319団体 82,339名)、個人 3,600名(H30 3,449名) ○相談件数 19,956件(H30 20,225件) (別表7、8)P41</p>	
<p>地区ボランティアセンターや福祉施設、病院、企業などで活動するコーディネーターの養成や資質向上のための講座を開催する。</p>	<p>地域のニーズや課題を受け止め、地域の資源(情報・人・場所等)をつなぎ、住民の地域での生活を支える仕組みや活動を作り出し進めるといったコーディネーター役になる人材養成を目的に開催した。 [実績] 6講座(うち4講座は中止) 延べ参加者数57名(H30 10講座 延べ参加者数798名) (別表9)P42</p>	
<p>情報紙「ボランティアかわらばん」、ホームページ「ボランティアネットながの」、まちの放送局、街中掲示板等を通じて、市内外へボランティア情報を発信する。</p>	<p>編集・発送及び掲示などボランティアの協力を得ながら情報を発信した。 [実績] ○「ボランティアかわらばん」は毎月1回(1,2月は合併号のため年間11号)6,300部発行。 ○街中掲示板を地区ボランティアセンター、老人福祉センター、協力企業等市内31か所に設置。</p>	
<p>長野市から指定管理者の指定および委託を受け、児童の健全育成を図るとともに就労家庭を支援する児童館等の管理経営を行う。</p>	<p>児童館・児童センター36館と、子どもプラザ46施設の管理を受託し、児童が安全・安心に過ごせる場所の確保等を行い、利用者のニーズに応えることができた。 [実績] ・児童館(5館)・児童センター(31館) 登録児童数 3,489人(H30 3,511人) 年間延べ利用児童数 588,283人(H30 608,810人) 放課後子どもプラザ(46施設) 登録児童数 4,060人(H30 4,224人) 年間延べ利用児童数 500,107人(H30 482,913人) (別表10)P43 ・利用を希望する特別な配慮を要する児童は、全て受け入れ対応している。 [実績] 加配児童数 164人(H30 145人) ・職員研修 5回実施 (別掲P33) ・待遇改善 支援員手当の創設 ・指定管理者 児童館・児童センター(計36館)の指定管理者に指定される。</p>	<p>○多様な体験活動や自主性、社会性、創造性の向上を図るため、保育材料の充実や研修会の充実を図り、育成支援を行うことができた。 ○特別な配慮を要する児童の受け入れ対応に伴う職員の確保については、支援の必要時間配分に対する人員確保が厳しく、現員体制で勤務時間を増やし対応している。 ○児童館・児童センターの指定管理者に指定され、引き続き事業を継続する。</p>
<p>長野市から指定管理者の指定を受け、地域福祉・ボランティア活動の拠点としてふれあい福祉センターの管理経営を行う。</p>	<p>市民の福祉活動の拠点として、またボランティア活動の中核施設として数多くの団体に利用をいただいた。 [実績] 延べ利用件数 4,373件(H30 4,525件) 延べ利用人数 81,430人(H30 91,075人) (別表11)P46</p>	

運営方針エ 寄附や社会貢献等の多様な住民参加の仕組みをつくります。

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
<p>基本施策 1-エ-01 寄附文化の醸成</p> <p>基本施策 1-エ-02 社会貢献・社会参加の推進</p>	<p>○日赤活動資金や共同募金の趣旨を広く周知し、住民をはじめ地域の関係者の共感と理解に基づいた取組を進めます。</p>	<p>○長野市共同募金委員会において取組の趣旨を共有し、市内各地区における募金活動の強化を図ります。 [共同募金運動協力事業]</p> <p>○日赤長野市地区において、地域への広報啓発活動を強化し、活動資金への協力を広く呼びかけます。 [日赤活動資金募集事業]</p>	<p>34</p> <p>35</p> <p>36</p> <p>37</p> <p>38</p>	<p>寄附・賛助会費の募集 【総務課】</p> <p>社会福祉功労者等の顕彰 【総務課】</p> <p>共同募金運動協力事業 【総務課】</p> <p>共同募金配分金事業 【総務課】</p> <p>日赤活動資金募集事業 【総務課】</p>

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>個人・団体等からの寄附金品の募集、受け入れ手続き等を行う。用途指定・不指定を問わない。</p>	<p>1 賛助会員の募集          本会広報紙等により賛助会員の募集を行った。          [実績]          R1年度入会者 0人 退会者 1人          会員数 3人、賛助会費額 年間40,000円</p> <p>2 寄附金品受入状況          [R1年度実績]          ○寄附件数 32件 総額 8,107,896円          (H30 29件 58,602,490円)          内訳:現金寄附 7,475,896円          物品寄附換算額 632,000円</p> <p>○寄附の用途別内訳          用途不特定 7,051,458円          法人運営へ 100,000円          介護サービスへ 606,087円          ボランティアセンターへ 150,000円          老人福祉センターへ 200,351円</p> <p>3 災害活動支援金の募集          災害ボラセン運営や被災地域の復興支援にあつての資金確保のため支援金を募集した。          ○寄附件数 83件 総額 3,846,159円          (別表12)P46</p>	
<p>長野市社会福祉大会において、社会福祉に功労があった個人・団体を表彰する。</p>	<p>8月27日に開催した長野市社会福祉大会において表彰を行った。          [実績]          ○社会福祉功労者 79人 (H30 14人)          ○優良住民自治協議会等 2団体 (H30 2団体)          ○社会福祉事業協助者 24件 (H30 14件)          (別表5)P39</p>	
<p>社会福祉法に基づき長野県共同募金会が実施する寄附金の募集において、長野県共同募金会長野市共同募金委員会の事務局として事業に協力する。</p>	<p>[実績]          ○令和元年度実績額 54,400,614円          目標額 57,640,000円 達成率 94.38%          【参考】H30年度実績額 55,621,989円          ○募金運動期間:10~12月          (別表13)P48</p>	
<p>長野県共同募金会より配分された配分金を活用した事業を行う。</p>	<p>配分金を活用した事業は概ね実施された。          共同募金を原資として市社協が実施する事業費に対し、配分額が不足してきており、ふれあい福祉基金を取り崩して充当。          配分金の約75%が各種助成事業となっている。          [配分額及び内訳]          ○令和元年度配分額(30年度募金) 30,195,989円          内訳:社協 23,224,016円          住自協(目標超過分)6,971,973円          (別表14、15)P48</p>	<p>○地域福祉担当が地区支援を行う際に、地区の福祉関係事業に共同募金が配分されている旨を周知し、取組への協力・理解に繋がった。</p>
<p>日本赤十字社法に基づき設置された日本赤十字社の長野県支部長野市地区の事務局として、支援者募集及び活動資金収納を行う。</p>	<p>活動資金募集実績は前年に比べ減少し、目標に達しなかった。          [実績]          ○令和元年度活動資金募集実績 48,679,477円          目標額 56,852,000円 達成率 85.62%          【参考】平成30年度実績 49,842,608円          ○強調月間:5月          (別表16)P49</p>	<p>○街頭募金活動を実施し、日赤活動資金が災害支援に活用されていることを広く市民に周知された。</p>

			39	長野市遺族会への支援(事務受託) 【総務課】
			40	長野市手をつなぐ育成会への支援(事務受託) 【総務課】
			41	長野市赤十字奉仕団への支援(事務受託) 【総務課】
			42	長野地区保護司会への支援(事務受託) 【総務課】
			43	長野地区更生保護女性会への支援(事務受託) 【総務課】

運営方針オ 長野市地域福祉計画に基づき、本会と長野市との役割及び責任を明らかにする中で一体的にまち

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 1-オ-01 長野市地域福祉計画の推進	○第三次長野市地域福祉計画を着実に推進するよう、長野市福祉政策課と連携した取組を図ります。	○第三次長野市地域福祉計画を着実に推進するよう、長野市福祉政策課と連携するとともに、地域福祉計画推進委員会の運営に協力します。 [長野市地域福祉計画推進委員会への協力等]	44	長野市地域福祉計画推進委員会への協力 【地域福祉課】
			45	長野市社会福祉審議会地域福祉専門分科会への参加 【地域福祉課】
			46	長野市地域福祉計画庁内推進会議への参加 【地域福祉課】



長野市遺族会の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P49	
長野市手をつなぐ育成会の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P49	
長野市赤十字奉仕団の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P49 令和元年東日本台風災害において、事務局は市と連携して避難所において各種支援を実施。 炊き出し:4回実施 他各種支援:延1,368人	○長野市赤十字奉仕団が、令和元年東日本台風による被災地の避難所での炊き出し・清掃・給仕・配給等の活動を精力的に行い、奉仕団の活動が広く周知された。
長野地区保護司会の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 「第65回長野県更生保護大会」を10年ぶりに長野市を会場に開催し、広く活動を周知した。 (事務受託団体一覧 別表17)P49	
長野地区更生保護女性会の事務局を受託し、会への支援を行う。	会の事業計画及び予算に基づき、会議や行事など会の運営について、事務局として支援を行った。 (事務受託団体一覧 別表17)P49	

づくりを進めます。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
第三次長野市地域福祉計画の進捗管理や評価を行う長野市地域福祉計画推進委員会に職員が出席したり、必要な事務等に協力する。	9月11日(水) 午後14時 長野市役所第二庁舎10階 202会議室 長野市福祉政策課が事務局となるが、社協からも主幹・係長が事務局の立場で出席	○職員の地区担当制をとることにより、長野市地域福祉計画に沿って策定された各地区地域福祉活動計画の進行管理の実施に協力し、計画の着実な推進を図った。
長野市の地域福祉施策のあり方について市民の意見や有識者等からの専門的な知識を反映させるため、長野市が設置している審議会へ参加する。	○5月27日(月) 午後3時30分 長野市役所第二庁舎10階会議室201 ○2月3日(月) 午後3時30分 長野市ふれあい福祉センター5階ホール 長野市福祉政策課が事務局となるが、社協からも課長・主幹・係長が事務局の立場で出席	
長野市地域福祉計画の進行管理・評価を行うため、長野市が市民・福祉関係機関等により組織した委員会への出席や、事務局的作用を担う。	長野市が実施する長野市地域福祉計画庁内推進会議については、今年度は開催されなかった。	

事業理念2 その人らしい生き方や暮らしを尊重した支援の実施

運営方針ア 介護保険法及び障害者総合支援法等に基づき、利用者が住み慣れた地域で暮らし続けることがで

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
<p>基本施策 2-ア-01 多様な利用者のニーズを受けとめ、ニーズにあったサービスを提供できる組織づくり</p> <p>基本施策 2-ア-02 地域の実情に応じた介護サービスの展開(介護サービスと地域福祉の連携強化)</p> <p>基本施策 2-ア-03 経営管理力の向上と人材の確保</p>	<p>○人材や専門職としてのノウハウを活用し、地域の関係機関や住民自治協議会などと連携し、地域に貢献できる事業所を目指します。</p> <p>○一人暮らしや高齢者夫婦等の在宅生活を支えていくために、地域性等を考慮し、公的な制度では対応できない支援を臨機応変に対応できるようにします。</p> <p>○利用者であっても役割をもって社会参加できるよう支援を行います。</p> <p>○介護人材の確保に向けて、効率的な働き方を実現し、業務負担の軽減を図ります。</p>	<p>○人材や専門職としてのノウハウを活用し、在宅生活の拡大、家族介護者の支援を積極的に行います。</p> <p>○地域の関係機関や住民自治協議会などと連携を図ります。</p> <p>○現行の公的支援外サービスの内容を見直し、住民ニーズに応えられるようサービスの充実を図ります。</p> <p>○地域の社会資源を活用し、利用者の社会参加活動を支援します。</p> <p>○業務の見直しを行い、負担軽減できるようICTや介護ロボットの活用又は多様な人材の確保を検討します。</p>	47	事業所を会場に、「認知症サポーター養成講座」「介護相談」「家族会」等の実施 【介護サービス課】
			48	地域の関係機関や住民自治協議会等との連携 【介護サービス課】
			49	公的支援外サービスの充実 【介護サービス課】
			50	利用者の社会参加支援 【介護サービス課】
			51	ICT、介護ロボット導入に向けた検討 【介護サービス課】
			52	外国人労働者の受け入れ検討 【介護サービス課】
			53	居宅介護支援事業 【介護サービス課】
			54	訪問介護事業 【介護サービス課】
			55	通所介護事業 【介護サービス課】
			56	短期入所生活介護事業 【介護サービス課】
57	認知症対応型共同生活介護事業 【介護サービス課】			
58	訪問看護事業 【介護サービス課】			

きるよう、自立支援に資する質の高いサービスを提供します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
地域住民や介護者に施設を知ってもらったり、専門的知識や技術を活用し地域に貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全事業所ではないが、実施することができた。</li> <li>・店舗を活用して、認知症カフェ(Fカフェ)を実施した。第1回は10月29日で、11月以降は2月まで毎月第2金曜日10:00～11:30に開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全サービスセンターで実施することは難しいが、少しずつ取り組み始めており、引き続き地域に貢献できる事業所を目指して進める。</li> </ul>
関係機関や地域住民等と連携を図ることで、福祉・介護の拠点として地域に貢献できる事業所を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を開放し、夏祭りや子ども食堂を開催したり、専門職としての知識を活かして、介護予防教室の講師として派遣するなど取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者のニーズに対して臨機応変に対応できるよう、引き続き検討を進める。</li> </ul>
現行の公的支援外サービスを見直し、通所も含めてサービスの拡充を図る。	現行のサービスを見直し、サービスの拡充を図ることはできなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者の社会参加活動のメニューも増えている。実際利用者のやりがいにつながっている。</li> </ul>
利用者が役割をもって社会と関わりが持てるよう、外部の企業などと連携して社会参加活動を実施する。	飲食店、雑貨屋や障害者施設などと連携して、窓ふきやテーブルをふくなどの清掃や、店内防犯パトロール、にんにくの皮むきなど取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな形で求人募集を行っているが、人材確保が難しい。人材定着のためにも、業務の効率化を図り、負担軽減を進める。</li> </ul>
業務の効率化を図るため、ICTや介護ロボットなどの活用に向けて、調査・研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーに参加するなど、情報収集を行った。</li> </ul>	
人材確保対策の一つとして、外国人労働者の受け入れについて、調査・研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会を開催したり、セミナーに参加するなど、外国人労働者受け入れについて、情報収集を行った。</li> </ul>	
要介護状態の高齢者等の心身の状況、環境、希望等を把握し、ケアプランの作成を行い、サービス提供事業所との連絡調整等を行う。	<p>10事業所でケアプランの作成等を行った。また、特定加算事業所は、運営基準等を遵守するとともにケアマネジメント技術の向上を図った。令和元年東日本台風の被害により、豊野事業所を休止した。</p> <p>(別表19、20)P50、P52</p>	
ホームヘルパーが家庭を訪問し、食事や排泄など日常生活上の介護や、調理や洗濯などの生活援助を行う。	<p>身体介護または日常生活を支援する生活援助サービスを6事業所で提供した。中条訪問介護事業所を廃止し、信州新町訪問介護事業所のサテライト化を実施した。</p> <p>(別表21)P52</p>	
通所介護事業所において、食事、入浴などの日常生活上の世話や機能回復のための訓練、レクリエーションなどを行う。	<p>通所介護サービスを10事業所で提供した。鬼無里通所介護事業所は、地域密着型通所介護へ移行した。アドバイザーの助言を取り入れ、利用者一人ひとりが持っている力を見極めながら、利用者本位の自立支援を行った。サービス利用が減少傾向の中で、柳町、篠ノ井、鬼無里事業所は増加した。</p> <p>(別表22)P54</p>	
短期入所施設において、入浴、食事などの日常生活上の介護や機能訓練などを行う。	<p>短期入所生活介護サービスを2事業所で提供した。機能訓練や散歩を積極的に行った。鬼無里と大岡事業所共に、利用が増加した。</p> <p>(別表23)P56</p>	
認知症高齢者を対象にしたグループホームにおいて、共同生活の中で、必要な介護や生活の世話をを行う。	<p>鬼無里なかよしハウスにおいて、認知症対応型共同生活介護サービスを提供した。新規入所者の行動・心理症状に対する支援方法をスタッフ全員で考えるなど、入所者が安心して共同生活を送れるよう支援した。</p> <p>(別表24)P57</p>	
看護師が家庭を訪問し、主治医の指示に従って、療養上の世話や診療の補助などを行う。	<p>定期的に地区内のケア会議に出席し、情報交換を行った。医療依存の高いケースに対応し、在宅での生活期間を長期に維持できるよう支援した。前年度に比べ、介護保険サービスが増加した。</p> <p>(別表25)P57</p>	

			59	居宅介護 【介護サービス課】
			60	重度訪問介護 【介護サービス課】
			61	同行援護 【介護サービス課】
			62	移動支援サービス 【介護サービス課】
			63	高齢者生活福祉センター受託事業 【介護サービス課】
			64	高齢者共同生活支援施設受託事業 【介護サービス課】

運営方針イ 介護者の身体的及び精神的負担等の改善を図ることができるよう福祉サービスを提供します。

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 2-イ-01 介護者支援の取り組みの充実	○介護をしている方の孤立化を防ぐため、リフレッシュの機会や交流の場の提供を図ります。	○認知症の家族を介護している方や、男性の介護者だけといった対象を限定した企画を開催したり、参加して楽しかったと感じてもらえるような企画を開催することで、少しでも事業に参加してもらえるような取組を検討します。 [在宅介護者リフレッシュのつどい事業]、[介護者交流事業]	65	在宅介護者リフレッシュのつどい事業 【地域福祉課】
			66	介護者交流事業 【地域福祉課】
			67	るすばん介護支援事業 【地域福祉課】

障害者の自宅において、入浴、排せつ、食事などの介護や調理、洗濯、掃除などの家事を行う。	身体介護または日常生活を支援する生活援助サービスを提供した。 サービス内容の見直し等を行い、利用者の自立支援につながるサービスを提供した。 (別表26) P58
重度の障害者で常に介護を必要とする人に、自宅で入浴、排せつ、食事などの介護や、外出時における移動支援などを総合的に行う。	身体介護または日常生活を支援する生活援助サービスを提供した。 サービス内容の見直し等を行い、利用者の自立支援につながるサービスを提供した。 (別表26) P58
移動が困難な視覚障害者等に対し、通院介助や日常生活における買い物など、外出時に必要な援助を行う。	視覚障害者に対し、外出支援のサービスを提供した。 サービス内容の見直し等を行い、利用者の自立支援につながるサービスを提供した。 (別表26) P58
屋外での移動が困難な障害者を対象に、ホームヘルパーが社会生活を営む上で必要な外出や余暇活動を実現するための外出等を支援する。	障害者総合支援法に基づく市地域生活支援事業の「移動支援サービス」を提供した。 (別表27) P58
居宅での生活に不安のある独居や夫婦のみの高齢者世帯を対象に、通所介護事業所併設の居住施設において、食事の提供、各種相談、助言、緊急対応等を行う。	3か所(鬼無里、大岡、中条)の高齢者共同生活支援施設の管理・運営を行った。 各センターともに利用が増加した。 (別表28) P58
居宅での生活に不安のある独居や夫婦のみの高齢者世帯を対象に、居住施設において、食事の提供、各種相談、助言、緊急対応等を行う。	2か所(戸隠栃原、戸隠豊岡)の高齢者共同生活支援施設の管理・運営を行った。 各施設ともに前年度に比べ、利用が増加した。 (別表29) P59

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
在宅で介護をしている介護者を対象に、心身のリフレッシュを図ることを目的として宿泊もしくは日帰り形式により交流を行う。	[宿泊事業] (台風災害のため中止) ○期日 10月17日(木)～18日(金) ○行先 静岡県 西伊豆堂ヶ島温泉 ○参加予定数 120人 [日帰り事業] ○期日 10月8日(火) ○行先 長野県佐久市 一万里温泉 ○参加者数 19人	○在宅で介護する介護者を対象として、心身のリフレッシュを図るための日帰り形式の交流会を実施したところ、継続参加者も多く再会を喜ぶ姿があり、介護者への支援ができた。
在宅で介護をしている介護者を対象に、短時間(2～3時間)で、日頃の介護に対する思いなどについて話し合う事業。老人福祉センターを会場に開催する。	介護者相互の連携を促進するため、昼食を伴う短時間の交流事業を本会が指定管理を行っている老人福祉センター等で開催した。 各センター毎に年2回実施するところであったが、新型コロナウイルスの影響を受け1回未実施となった。 [実施概要] ○実施回数 13回(7会場)(H30 14回(7会場)) ○延べ参加者数 108人(H30 96人)	○事業継続に向けて協力者の理解を得られ、支援をいただくことができた。
在宅で介護をしている介護者を対象に、訪問介護員を派遣し短時間(2～3時間)の留守番を行う事業。本会以外の訪問介護事業者にも派遣事業者として協力を仰ぎ実施する。	[実施件数] 9件(H30 23件) [内訳] ○平日2時間 6件(H30 9件) ○平日3時間 2件(H30 8件) ○平日時間外・土日・祝日2時間 0件(H30 2件) ○平日時間外・土日・祝日3時間 0件(H30 3件) ○その他 1件(H30 3件)	

運営方針ウ 多様な課題を受けとめ、支援につなげる「総合相談・生活支援体制」を確立し、社会的孤立や制度

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
<p>基本施策 2-ウ-01 「受けとめる」相談事業の充実</p> <p>基本施策 2-ウ-02 「地域での生活」を視点とした相談事業と支援の仕組みづくり</p>	<p>○市民一人ひとりがその人らしく安心して生活できる体制整備を図るため、成年後見支援センター事業部門、日常生活自立支援事業部門及び地域包括支援センター等との連携を強化し、相談から担い手養成まで総合的な取組を推進します。</p>	<p>○H30実施の市民後見人養成研修(基礎研修)修了者として実務研修へ移行した法人後見支援員が、成年後見人等として活動することができるよう支援します。</p> <p>○平成29年3月24日閣議決定された成年後見制度利用促進計画に基づき、長野市と協議を進め、長野市成年後見制度利用促進基本計画の策定に協力します。 [長野市成年後見支援センター運営事業]</p>	68	長野市成年後見支援センター運営事業 【地域福祉課】
		<p>○日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業に係る相談及び契約者数の増大に対応するため、人員体制の整備等、事業推進の基盤強化を図ります。</p>	69	日常生活自立支援事業 【地域福祉課】
		<p>○住民等からの多様な相談を受け止めるために「相談ガイド」を作成し、相談体制の強化を図ります。</p> <p>○老人福祉センター、福祉センター及び公共交通バス事業所(以下「各センター」という)に、</p>	70	暮らしのあんしんサービス事業 【地域福祉課】
		<p>日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業拠点としての機能を付与し、利用者の公平性の担保を図ります。(経営理念1経営方針イと関連)</p> <p>[日常生活自立支援事業][暮らしのあんしんサービス事業]</p>	71	生活福祉資金貸付事業 【地域福祉課】
			72	助け合い資金貸付事業 【地域福祉課】
			73	きぼう相談事業 【地域福祉課】
			74	法律相談事業 【地域福祉課】

の狭間にある福祉課題・生活課題の解決を、多様な支援ネットワークの構築により進めます。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>成年後見を適切に利用するため専門相談窓口を開設し、相談から調整・申立支援等を総合的に行う。</p>	<p>[実績]                      ○相談件数 9,316件(H30 8,091件)                      ○法定後見(累計) 88件(H30 74件)                      ○任意後見(累計) 8件(H30 6件)                      (別表30)P59</p> <p>○市民後見推進事業                      1 法人後見支援員設置事業(実務研修)                      平成30年度実施の市民後見人養成研修事業受講修了者18名の内、実務研修の受講を希望した16名をパート職員として雇用し、法人後見事業の実務を経験。                      2 市民後見人支援事業                      実務研修受講者の内、2名を長野家庭裁判所へ成年後見人等候補者として推薦し、選任される。</p>	<p>○三部門の連携強化により、さまざまなケースに対しスムーズな対応が可能となっており、利用者の増加につながっている。</p>
<p>認知症高齢者等の判断能力が不十分な方に対して、日常的な金銭管理や預貯金通帳等の預りを行う。(社会福祉法に定める第2種社会福祉事業)</p>	<p>長野県社会福祉協議会と契約し基幹的社会福祉協議会として、長野市、信濃町、小川村を対象エリアに事業を行った。                      [契約件数] 197件(H30 200件)                      (別表31)P60</p>	<p>○日常生活自立支援事業、暮らしのあんしんサービス事業においては、既存のふれあい福祉センター及びみなみ出張所に加え、本会が管理運営する福祉センター及び老人福祉センターにおいて、サービスの一部を継続して実施している。</p>
<p>判断能力はあるが、単身高齢者等で金銭管理等の不安がある方に対して、日常的な金銭管理や預貯金通帳等の預りを行う。(長野市社協独自事業)</p>	<p>長野市の補助金により実施した。                      [実績]                      ○契約件数 41件(H30 43件)                      ○相談者実数 329人(H30 327人)                      ○述べ相談件数 2,059件(H30 1,750件)                      ○契約内訳 金銭管理契約33件 財産保全契約8件                      (別表32)P60</p>	
<p>低所得世帯等に対し、その世帯の自立助長を促すため資金の貸付を行う事業。総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金と用途に応じた貸付を行う。(社会福祉法に定める第2種社会福祉事業)</p>	<p>[実績]                      ○相談件数 884件(H30 1,222件)                      ※内、みなみ出張所 26件(H30 97件)                      ○貸付件数 66件(H30 23件)                      ※内、みなみ出張所 2件(H30 4件)                      (別表33)P61</p> <p>○特例貸付(台風19号):19件※令和2年3月末で終了                      ○特例貸付(新型コロナ):20件※令和2年3月25日から開始</p>	<p>○まいさぽ長野市と連携し、貸付対象にならなかった方への支援についても総合的に実施できた。                      ○次年度も継続して特例貸付の申込みが大幅に増加すると見込まれるため、対応方法や人員の確保が課題である。</p>
<p>低所得世帯等に対し、その世帯の自立助長を促すため、小口の資金貸付を行う。(長野市社協独自事業)</p>	<p>○償還件数 3件 17,000円(H30 3件 38,000円)                      ○未償還件数 3件 86,500円(H30 4件 103,500円)                      (別表34)P61</p>	
<p>誰にも相談できない、どこに相談したら良いか分からないといった「よろず」的な相談に対し、相談所を開設し相談を行う。</p>	<p>[実績]                      ○相談件数 1,807件(H30 1,840件)                      ※内、篠ノ井出張相談 466件(H30 496件)                      (別表35)P61</p>	
<p>法律的な見地からの相談対応が必要な相談に対し、弁護士を相談員として、法律相談を行う。(毎月1回)</p>	<p>[実績]                      ○法律相談(全12回) 41件(H30 38件)                      (別表35)P61</p>	

	<p>○生活困窮者の自立を図るため、生活、就労、居住に関する総合的な相談、支援に取り組みます。</p> <p>○生活困窮者を支える地域づくりを推進するため、民生委員・児童委員との連携を図り、早期把握や見守り機能の強化を図ります。</p> <p>○高齢者や障害者、生活困窮者等住居確保が困難な方の居住支援機能を強化するため、市の住宅や福祉関係部署と連携した取組を図ります。</p> <p>○総合相談の体制整備を図るため、総合相談の窓口を明確化し「制度の狭間や複合的な課題を抱える相談」を包括的に受け止め、支援する機能を強化します。</p> <p>○総合相談における「よろず相談」の機能を強化するため、地区コーディネーターの役割を強化します。</p> <p>○総合相談における「早期把握」の機能を強化するため、民生委員・児童委員への周知や研修を行います。</p>	<p>○行政、ハローワーク等関係機関との連携を強化し、ニーズを早期に把握して迅速に対応します。</p> <p>○ニーズの把握から課題の整理、支援の実施までを総合的に実施し、生活困窮者等の課題を抱えた方の自立を支えます。</p> <p>○就労訓練支援事業に取り組み、出口支援の充実を図ります。</p> <p>○地区民生委員児童委員協議会定例会等に職員が出向き、事業の周知や困窮者支援に関する研修を行います。</p> <p>○住宅確保が困難な方の居住支援を推進するため、長野市住宅課、生活支援課と連携するとともに長野県あんしん創造ネット事業に参加・協力し、保証人が確保できない方の入居や就労支援に取り組みます。 [長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”の運営事業]</p> <p>○“まいさぼ長野市”内に「包括的相談窓口」を設け「制度の狭間」や「複合的な課題を抱える相談」に対応します。</p> <p>○地区コーディネーターへの研修を実施し、身近な地域での「よろず相談」機能の充実に取り組みます。</p> <p>○地区の民生委員児童委員協議会の定例会に出向き、総合相談の周知や早期把握のポイントについての研修を行います。</p> <p>○生活支援コーディネーターや関係機関と連携しながら、介護予防・日常生活支援総合事業を推進します。</p> <p>○個別ケア会議の充実を図り、その積み重ねから地域課題の把握に努めます。</p> <p>○認知症高齢者とその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援します。 [地域包括支援センター受託事業]</p>	75	<p>長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”の運営事業 【地域福祉課】</p>
			76	<p>ふれあいデイケア事業 【地域福祉課】</p>
			77	<p>地域包括支援センター受託事業 【介護サービス課】</p>
			78	<p>在宅介護支援センター受託事業 【介護サービス課】</p>



<p>現に生活に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある生活困窮者の自立の促進を図ることを目的に相談支援を行う。</p>	<p>長野市からの受託により長野市生活就労支援センター「まいさぼ長野市」を平成27年度から開設し、自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労訓練支援事業を実施した。 〔実績〕 ○自立相談支援事業 相談件数(延べ)7,288件(H30 7,712件) ○家計改善支援事業 相談件数(延べ)1,509件(H30 1,350件) ○就労訓練支援事業 相談・助言・開拓等件数(延べ)805件(H30 326件) 認定就労訓練事業所新規開拓数 1法人1事業所(H30 4法人4事業所) ○「長野県あんしん創造ネット事業」への参加 入居保証支援事業利用件数 17件(H30 14件) 上記以外の事業利用件数 2件(H30 2件) ○民生児童委員や関係機関等を対象にした研修 開催回数 35回(H30 11回) (別表36)P62</p>	<p>○「長野市生活就労支援センター“まいさぼ長野市”」の相談利用者が増加し、具体的な支援や自立につながるケースが増えている。 ○「総合相談カンファレンス会議」を実施。まいさぼの他、日常生活自立支援事業、暮らしのあんしんサービス事業、成年後見支援センター事業の初期相談の共有・検討を行い、総合的な相談支援体制を整備することで、複合化、多様化したケースに対応した。 ○次年度については、市委託事業として「福祉の総合相談体制一元化事業」を実施することで、包括的支援体制の構築を実現していく。</p>
<p>相談事業等で把握された既存の制度やサービスにはあてはまりにくいニーズに対してふれあい、交流の場を提供を通じ支援を実施する。</p>	<p>寄せられた相談の中から、様々な理由で外出や交流の機会が持ちにくい方、またまいさぼで把握したひきこもり者を対象に、心身のリフレッシュを図るとともに、社会参加のきっかけづくりになるよう、相談のひとつの形態として、個々が抱える課題解決を図るためにデイケアを実施した。 〔実績〕 ○煎茶デイケア 7回 延べ37人(H30 8回 延べ53人) ○ちぎり絵デイケア 23回 延べ80人(H30 20回 延べ57人) ○書道デイケア 51回 延べ238人(H30 47回 延べ220人) ○居場所デイケア 23回 延べ69人(H30 20回 延べ79人) また、当事者交流の場として、男性同士の交流を促すため料理教室等を行った。 〔実績〕 ○一人暮らし高齢者いきいき料理教室の開催 3回 延べ40人(H30 3回 延べ43人) ○男性の料理教室 (前期)4回 延べ41人(H30 4回 延べ60人) (後期)2回 延べ25人(H30 4回 延べ67人) ○料理教室フォローアップ 7回 延べ59人(H30 4回 延べ33人) ○その他(各1回開催) 包丁研ぎ8人(H30 11人)</p>	<p>○令和元年東日本台風(台風第19号)災害の被災者からの相談に対し、特例貸付や通常の相談支援を提供。次年度もささえあいセンターと連携し必要な相談支援を行っていく。 ○新型コロナウイルス感染拡大の影響により減収等で生活に困窮した世帯に対し、貸付担当と連携し特例貸付の手続きを支援した。次年度も継続して支援を継続していく必要がある。 ○民生児童委員が抱える困難ケースの相談に応じることで制度の狭間にある相談に対応することができた。</p>
<p>介護・福祉・保健・医療に関する総合相談窓口として設置された機関。社会福祉士・保健師・主任ケアマネジャーなどの専門職員を配置し、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう支援する。</p>	<p>安茂里・豊野サブセンター・吉田の3事業所で受託。介護者教室等を開催したり、認知症カフェの運営を支援した。 豊野サブセンターは令和元年東日本台風の被害により、拠点を移し、事業を継続した。 (別表37)P63</p>	<p>○「長野県あんしん創造ネット事業」に参加、協力することで、入居保証等狭間のニーズへの取り組みが推進できた。</p>
<p>地域包括支援センターの行う業務を補って、地域の身近な相談窓口として、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、福祉や保健などのサービスを提供するために地域内の関係機関との連絡調整を行う。</p>	<p>鬼無里・大岡の2事業所で受託。高齢者実態把握、介護者教室等を開催した。 (別表38)P65</p>	

			79	長野市生活支援・地域ささえあいセンター受託事業
--	--	--	----	-------------------------

事業理念3 状況に応じた柔軟で迅速な取組の実施

運営方針ア 地域に開かれた組織として、情報の公開や発信を行うとともに、住民からの意見を聴く仕組みをつ

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 3-ア-01 広報広聴活動の充実	<p>○ホームページやSNS等の性質に応じて、本会が発信すべき情報や住民が知りたい情報を適切に発信できるよう広報の充実を図ります。</p> <p>○広く住民や利用者からの意見を効率的に聴く広聴機能を高め、あらゆる福祉ニーズの集約を図るとともに、住民に身近で分かりやすい社会福祉協議会を目指します。</p>	<p>○SNS等を活用し、それぞれの所属や事業所での取組やイベント情報など、リアルタイムな情報を積極的に発信します。</p> <p>○既存の広聴機能を活用して住民や利用者からのニーズを法人内で共有し、身近な問題の解決につなげます。 [広報・広聴活動]</p>	80	<p>広報活動 【総務課】【地域福祉課】 【介護サービス課】</p>
			81	<p>苦情対応 【総務課】</p>

運営方針イ 制度の狭間にある福祉課題を把握し、地域の福祉ニーズに対応した新たな取り組みを迅速かつ柔

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 3-イ-01 総合力を活かした事業の展開	<p>○第二次総合計画について、6ヶ年のうち3ヶ年が経過することから、中間評価を行います。</p>	<p>○課題解決プロジェクトを中心として、事業理念・経営理念に沿った事業展開ができていくか検証し、次年度以降の事業計画に反映させます。 [課題解決プロジェクト]</p>	82	<p>課題解決プロジェクト 【総務課】</p>
			83	<p>長野ブロック社会福祉協議会関連事業</p>

<p>令和元年東日本台風(台風19号)による被災者が、安心して生活を送り生活再建を図ることができるよう、孤立防止等のための見守りや、日常生活上の相談、地域交流等の支援を総合的に行う。</p>	<p>長野市から委託を受けて12月19日に開設。生活支援相談員を配置し、仮設住宅等で生活する被災者を巡回訪問し、見守り・相談支援を行うとともに、サロン活動等の地域コミュニティ支援を行った。 〔実績〕 支援件数 1,365件(12～3月)</p>	
---	--	--

くり、地域福祉ニーズの評価を行います。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>主に以下のような広報誌発行やホームページの運営を行う。</p> <p>ふくしながの(法人広報誌) 社協案内パンフレット 児童館だより 老人福祉センターだより ボランティアかわら版 Facebook ホームページ ・法人 (<a href="http://www.csw-naganocity.or.jp">http://www.csw-naganocity.or.jp</a>) ・ボランティアセンター (<a href="http://www.vnetnagano.or.jp">http://www.vnetnagano.or.jp</a>)</p>	<p>従来の法人ホームページのほか、SNSの利用に関するガイドラインと運用方針を定め、SNSの利用を進めた。 法人全体の広報誌「ふくしながの」を発行し、全世帯に配布したほか、各事業や施設においてパンフレットや広報誌、案内チラシ等を発行した。 〔実績〕 ○ふくしながの発行日及び部数 第73号 8月1日発行 発行部数 158,200部 第74号 2月1日発行 発行部数 158,250部</p>	<p>○SNSの利用に関するガイドラインと運用方針を定めたことにより、各担当や事業所からタイムリーな情報を発信できる体制を整えることができた。</p> <p>○通所介護事業所では、介護者やケアマネジャーなどに向けて広報紙を発行し、提供するサービスや取り組み内容を周知したことで、新規利用者の獲得につながった。</p>
<p>苦情解決に関する規程に基づき、苦情受付・解決体制を整備する。</p>	<p>苦情解決第三者委員に対し前年度の苦情内容及び対応について8月2日に報告・説明を行い、対応等についてアドバイスを受けた。 〔実績〕 ○苦情受付件数 32件(H30 28件) (別表39)P67</p>	

軟に実施します。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
<p>三課を横断したプロジェクトチームで具体的な問題や課題の解決方法を議論しながら、新たなサービスの開発に取り組む。</p>	<p>第1回(5月15日) 議題①:第65回長野市社会福祉大会のテーマと講演会等講師の選定について 議題②:第二次総合計画の進捗管理等について</p>	
<p>他市町村との連携を図るため、本市周辺の社会福祉協議会で構成されている長野ブロック社協(9市町村)が行う職員研修へ参加する。</p>	<p>○長野ブロック社協職員研修会 ・開催日 令和元年9月18日(水) ・場所 高山村保健福祉総合センター ・内容 お買い物サロン「寄りたい市場」について研修 ○長野ブロックボランティア交流研究集会 東日本台風災害のため中止</p>	<p>○本市周辺の9市町村社会福祉協議会と情報交換や福祉課題の共有を図ることにより、職員の視野の拡大やモチベーション向上につながった。</p>

運営方針ウ 災害等の緊急時に対応できる支援体制を構築します。				
基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
基本施策 3-ウ-01 災害時等に迅速・柔軟に対応できる体制の整備	○防災意識の向上を図るとともに、災害発生時における利用者や職員の安心と安全が確保される体制を構築します。	○職員の防災・危機管理能力向上のため、災害対応マニュアルに定めた実践的な訓練等を実施します。  ○県及び市が主体となって行う総合防災訓練に市社協として参加し、災害ボランティアセンターの開設についても訓練を行います。  ○長野県社協が主導する「県内社協職員災害初動時における先遣チーム(DSAT)の活動に引き続き協力します。	84	災害時想定訓練の実施【総務課】
			85	災害ボランティアセンターの開設・運営訓練
			86	長野市災害ボランティアセンターの開設・運営
			87	県内社協職員災害初動時先遣チーム(DSAT)への参加

経営理念1 地域住民に分かりやすい機能的な組織体制の確立

経営方針ア 地域福祉を推進する民間団体として、会員や理事、評議員等の果たすべき役割を明確にし、主体

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
		○会計監査人の導入に向け、厚生労働省などからの情報収集を行います。	88	法人の内部管理体制の整備【総務課】

経営方針イ 地域住民一人ひとりに身近な組織を目指すため、地域における総合相談体制・生活支援体制を強

	○市民一人ひとりがその人らしく安心して生活できる体制整備を図るため、日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業の実施場所の整備を図ります。(事業理念2運営方針ウに関連)	○各センターにおいて通帳管理、生活支援員の勤怠管理等を実施し、生活支援員の支援拠点として整備します。	89	日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業拠点の整備事業【地域福祉課】
--	---	--	----	--

経営方針ウ 専門性の高い、地域住民から信頼される職員を育成するなど、適切な人事管理を行います。

	○職種や経験などを踏まえ、個々の職員の資質・能力向上を図ります。	○階層別の研修や技能向上のための研修など体系的な研修計画を作成し、職員の資質向上に資する研修の実施、参加をします。	90	職員研修【総務課】【地域福祉課】【介護サービス課】
--	----------------------------------	---	----	---------------------------

事業概要		
事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
災害対応マニュアルに規定した災害時想定訓練として、豪雨災害発生時における救援本部の応急対応を訓練し、防災・危機管理能力の向上及び災害対応マニュアルの事業継続計画(BCP)の検証と改善点の洗い出しを行う。	災害時を想定した実践的訓練として「豪雨災害対応型机上災害訓練」を実施した。 実施日:令和元年10月3日(水) 午前10時~正午 場所:長野ふれあい福祉センター 会議室 訓練内容:訓練シナリオに基づき状況を付与し、対応すべき事項を判断して行動する机上型訓練 訓練項目:①情報収集・集約・伝達・共有 ②対応方針の決定と応急対応 ③各班との連携	○身近に起こり得る豪雨災害を想定した訓練の実施により、職員の防災意識の向上を図ることができた。  ○長野市も被災したことにより、市民の防災意識が高まったと思われることから、今後も防災・減災に向けた取組を充実していく必要がある。
災害ボランティアセンター運営マニュアルに従い、災害ボランティアセンターの運営者役とボランティア活動者役を体験し、役割や機能について学び、災害ボランティアセンターの普及・啓発を図る。	10月20日(日)に、令和元年度長野県総合防災訓練に併せて実施予定であったが、令和元年東日本台風災害のため中止となった。	
令和元年10月の「令和元年東日本台風」により千曲川の堤防の決壊や越水、また支流の越水も起こり甚大な被害が発生した。本会においては、市との協定に基づき長野市災害ボランティアセンターを設置し、被災直後から被災者の支援に取り組んできた。	10月14日に長野市災害ボランティアセンター(本部)を立ち上げ、順次南部及び北部センターやサテライトを設置した。 開設日数 78日 活動者数 延べ64,705人 対応ニーズ 延べ3,666件	
県内で災害が発生した際の初動対応に備えるため、長野県社協が主導するDSATに参加する。	市内全域に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風災害に対して、長野県内外から派遣されたDSATや社協職員の支援のもと、災害ボランティアセンターの開設及び運営を行った。	

的な経営判断を行うことのできる組織体制を構築します。		
事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
法人業務の適正を確保するために必要な整備に関する基本方針の策定及び諸規定の整備	会計監査人設置対象法人の基準の引下げが延期されたため、同基準により対象となる本事業も未実施となった。	○事業未実施
化・確立します。		
既存のふれあい福祉センター及びみなみ出張所に加え、本会が管理運営する福祉センター及び老人福祉センターにおいて、サービスの一部を実施する。	利用件数 3件(信州新町福祉センター)	○既存のふれあい福祉センター及びみなみ出張所に加え、本会が管理運営する福祉センター及び老人福祉センターにおいて、日常生活自立支援事業及び暮らしのあんしんサービス事業の一部を継続して実施する。
	法人全体及び各所属等において、業務遂行のために必要な研修を実施した。(別掲P32)	○災害対応やメンタルヘルスに関する研修のほか、各所属がそれぞれ業務に必要な研修を実施し、職員の質の向上を図ることができた。

	○雇用形態に関わらない公正な待遇の確保に取り組みます。	○正規職員と有期雇用職員の間における待遇差の解消を進めます ○信州福祉事業所認証・評価制度(信州ふくにん)の認証に向け、評価基準を満たすための取組を進めます。	
--	-----------------------------	--	--

経営理念2 健全な財政運営の実現

経営方針ア 介護サービス等の自主事業においては、介護保険法や障害者総合支援法等に基づき、質の高い

基本施策	重点目標	重点実施項目	No.	実施事業
	○サービスの質の向上と併せて、健全経営のため不採算事業の改善に努めます。	○中山間地の介護サービスの状況整理と、今後の見通しを明らかにし、具体的な方策を打ち出します。(業務形態、各種加算等々)  ○今後の介護サービス事業の方向性や事業所拠点の整備(統合・縮小・サテライト化)を検討します。	91	中山間地域事業所の採算性確保 【介護サービス課】

経営方針イ 制度の狭間にある福祉課題を把握し、地域の福祉ニーズに対応した事業を迅速かつ柔軟に実施

	○総合相談や地域の福祉活動の中で把握された「狭間のニーズ」について社協内で検討、解決していく体制整備を図ります。	○「狭間のニーズ」を課題解決プロジェクトで検討し、解決に向けた協議を行います。	92	生活困窮者に対する独自支援の検討 【地域福祉課】
			93	住居確保困難者に対する居住支援の検討 【地域福祉課】

経営方針ウ 公共性の高い民間団体として行政や関係機関とも密接に連携し、公費財源を確保したうえで社会

			94	ふれあい福祉基金の運営 【総務課】
			95	ボランティア活動振興基金の運営 【総務課】

--	--	--

安定したサービスが継続できるよう財政運営に努めます。

事業概要	事業実績	重点目標に対する評価
中山間地域事業所の健全経営のため、業務改善等により採算性確保に向けた取り組みを進める。	中山間地域である戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条の各センターに担当職員を決め、各センターの連携会議や運営推進会議等に参加した。 中条訪問介護事業所のサテライト化、及び鬼無里通所介護事業所の地域密着型通所介護へ移行した。	○中山間地域の不採算事業については、事務局担当者を決め、改善に向けた体制を整備したが、令和元年東日本台風の災害等もあり、十分な対応が図れなかった。

するため民間財源の確保に努め、さらなる財政状況の透明化を図ります。

緊急性の高い食糧支援のニーズに対応するため社協職員に協力を呼びかけ「社協内フードドライブ」を実施する。	○緊急性の高い課題に対応するため、食料支援としての「社協内フードドライブ」をはじめ、生活に必要な物品の提供を実施し、既存の制度では対応できない支援に取り組んだ。 〔実績〕 支援者数 188人(H30 239人) 被支援者数 268人(H30 456人)	○多くの被支援者から感謝の声をいただいた。継続を望む声が多いが、周知と安定的な運営の仕組みづくりが課題である。
高齢や障害、生活困窮等により住居確保が困難な方に対して、行政と協力して課題の共有や解決策の検討を行う。	○長野市担当課との協議の継続に加え、長野県居住支援協議会にもアドバイザーとして参加。長野県住宅供給公社からのあっせんが多数あったことも影響し、長野県内社協で実施している「長野県あんしん創造ねっと」の事業利用者も増加傾向がみられる。 〔実績〕 長野県あんしん創造ねっと新規事業利用申込者数 公営住宅:14件、民間賃貸住宅:3件	○関係機関と連携しながら住居確保困難者に対する支援の実施、拡充を検討。 ○公営住宅について、他県では保証人を不要としている自治体もあるため、県内においても同様の対応が可能か担当課と協議を行う必要がある。

福祉協議会らしい事業展開ができる体制を行政とともに構築します。

長野市における地域福祉の向上をめざし、福祉需要の増大及び多様化に対応した事業の推進を図ることを目的とした基金の運営を行う。	積立額:7,194,236円(使途不特定寄附ほか) 取崩額:3,423,433円(共同募金配分金、広報啓発、介護者支援等の事業費に充当) 〔令和元年度末基金残高〕 147,485,839円(前年度比3,770,803円増)	
地域福祉の向上をめざし、自主的で継続的なボランティア活動の振興を図ることを目的とした基金の運営を行う。	運用益1,693,561円は介護者リフレッシュ事業、ボランティアセンター活動事業の財源として活用した。 〔令和元年度末基金残高〕 303,191,053円(前年度から変動なし)	

# 付 属 明 細 書

## Ⅱ 経営理念に関する別掲資料

### 1 会務の運営

会務の運営は、理事会及び評議員会に諮りながら推進し、監事の指導及び監査により執行の適正を期した。

#### (1) 理事会の開催

**【第1回理事会】** 平成31年4月1日(月) 午前11時29分～午前11時41分  
長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

報告第4号 補欠理事の選任について

議案第7号 常務理事の選定について

**【第2回理事会】** 令和元年6月4日(火) 午後1時59分～午後3時52分  
長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

報告第5号 平成30年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会補正予算の専決について

報告第6号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会公印規程の一部を改正する規程の専決について

報告第7号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会安全衛生管理規程の一部を改正する規程の専決について

議案第8号 平成30年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業報告

議案第9号 平成30年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会決算

議案第10号 評議員選任・解任委員の補充選任について

議案第11号 評議員補充選任候補者の推薦について

議案第12号 参与の選任について

議案第13号 任期満了に伴う理事・監事選任候補者について

議案第14号 令和元年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について

議案第15号 令和元年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について

**【第3回理事会】** 令和元年6月21日(金) 午前11時30分～午前11時49分  
長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

議案第16号 会長、副会長及び常務理事の選定について

報告第8号 評議員の補充選任について

**【第4回理事会】** 令和元年7月9日(火) 午後4時26分～午後4時38分  
ホテルメトロポリタン長野 3階 志賀

議案第17号 第65回長野市社会福祉大会の開催について



**【第5回理事会】** 令和元年10月23日(水) 午前9時59分～午前11時05分

長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- 議案第18号 令和元年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会補正予算について  
議案第19号 補欠理事の選任候補者について  
議案第20号 令和元年度第3回評議員会の招集について  
報告第9号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会訪問介護事業所設置規程の一部を改正する規程の専決について  
報告第10号 会長、常務理事の職務執行状況について  
報告第11号 令和元年度上半期の事業進捗状況等について

**【第6回理事会】** 令和2年3月17日(火) 午前10時04分～午前11時51分

長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- 議案第1号 令和2年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業計画  
議案第2号 令和2年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会予算  
議案第3号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会組織規程の一部を改正する規程  
議案第4号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程  
議案第5号 令和元年度第4回評議員会の招集について  
報告第1号 令和元年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会第2次補正予算の専決について  
報告第2号 令和元年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会第3次補正予算の専決について  
報告第3号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会組織規程の一部を改正する規程の専決について  
報告第4号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の専決について  
報告第5号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会居宅介護支援事業所設置規程の一部を改正する規程の専決について  
報告第6号 社会福祉法人長野市社会福祉協議会通所介護事業所設置規程の一部を改正する規程の専決について  
報告第7号 会長、常務理事の職務執行状況について  
報告第8号 令和元年度下半期の事業進捗状況等について

**(2) 評議員会の開催**

**【第1回評議員会】** 令和元年6月21日(金) 午前9時32分～午前11時00分

長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- 報告第2号 評議員選任・解任委員の補充選任について  
報告第3号 評議員の補充選任について  
報告第4号 平成30年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会補正予算の専決について  
報告第5号 常務理事の選定について

- 報告第6号 参与の選任について  
議案第4号 平成30年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業報告  
議案第5号 平成30年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会決算  
議案第6号 任期満了に伴う理事・監事の選任について

### 【第2回評議員会（報告の省略による）】

- 評議員会への報告があったものとみなされた日 令和元年7月12日  
報告第7号 会長、副会長及び常務理事の選定について

### 【第3回評議員会】 令和元年11月6日(水) 午前9時57分～午前10時25分 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- 議案第7号 令和元年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会補正予算について  
議案第8号 補欠理事の選任について

### 【第4回評議員会】 令和2年3月25日(水) 午後2時00分～午後3時51分 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

- 議案第1号 令和2年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業計画  
議案第2号 令和2年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会予算  
報告第1号 令和元年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会第2次補正予算の専決について  
報告第2号 令和元年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会第3次補正予算の専決について  
報告第3号 令和元年度事業の進捗状況等について

## (3) 正副会長会の開催

### 【第1回正副会長会】 令和元年7月9日(火) 午後3時30分～午後4時10分 ホテルメトロポリタン長野 3階 戸隠

- 議 題 (1) 第4回理事会の議事について  
(2) 第65回長野市社会福祉大会 顕彰者の審査について  
(3) 第65回長野市社会福祉大会 次第について  
(4) その他

## (4) 評議員選任・解任委員会の開催

### 【第1回評議員選任・解任委員会】

- 令和元年6月13日(木) 午前9時55分～午前10時11分  
長野市ふれあい福祉センター 2階会議室1  
議案第1号 評議員の補充選任について

## (5) 事業及び会計の監査

【平成30年度監査】 令和元年5月23日(木) 午前10時～午後4時20分

令和元年5月24日(金) 午前10時～午後3時

長野市ふれあい福祉センター 2階会議室2

監査対象 ア 平成30年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会事業報告及び業務  
執行状況

イ 平成30年度社会福祉法人長野市社会福祉協議会決算

## (6) 苦情解決第三者委員会の開催

### 【第1回苦情解決第三者委員会】

令和元年8月2日(金) 午後1時～午後1時30分

ホテル信濃路 3階「信濃」

報告事項 平成30年度及び令和元年7月末までの苦情内容及び対応結果について

## 2 役員研修の実施

### (1) 第68回長野県社会福祉大会への参加

ア 期 日 令和元年9月20日(金)

イ 会 場 駒ヶ根市文化会館(駒ヶ根市上穂栄町23-1)

ウ 参加者数 11人(理事・評議員・事務局職員)

エ 概 要

(ア) 式典(表彰、共同募金に対する謝辞ほか)

(イ) 信州共生みらいアイデアコンテスト2019

プレゼンテーション、表彰式

(ウ) 講演

「ごちゃまぜで挑む 共生の地域づくり」

雄谷 良成 氏((公社)青年海外協力協会会長、(福)佛子園理事長)

(エ) 大会アピール

## 3 職員研修の実施及び参加

### (1) 法人全体の研修(3課共通)

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成31年4月1日(月)	新規採用職員研修 (法人の運営及び各課の実施事業について説明)	新規採用職員(一部嘱託職員等を含む)	12人
令和元年6月20日(木)から 令和元年9月4日(水) の間で6回参加	安全運転管理者等講習 主催:安全運転管理者協会	各事業所安全運転管理者及び副安全運転管理者(所長等)	15人

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和2年2月26日(水)	退職者セミナー (退職後の生活設計について 講師:社会保険労務士、金融機関)	令和元・2年度 定年退職予定者	4人
毎月(第二火曜日等実施)	メンタルヘルス個別研修 担当:日本産業カウンセラー協会 上信越支部長野事務所	全職員のうち希望者	延べ34人

## (2) 児童館・児童センター、子どもプラザ職員研修

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和元年6月10日(月)	館長・施設長・コーディネーター研修 「放課後子ども総合プランの発想と社会の ニーズ ～何から、どう取り組むか～」	館長、施設 長、コーデ ィネーター	87人
令和元年6月12日(水)	第1回支援員研修 「安全管理に関する基本的事項の概要につ いて」 「小児の救急救命処置の仕方」	支援員	86人
令和元年7月12日(金)	第2回支援員研修 「あそびとまなび」 「放課後子ども総合プランにおける安全安 心人の対応」	支援員	88人
令和元年9月5日(木)	第3回支援員研修 「障害と向き合う家庭の様子。そして子ど もへの支援～長野市の放課後デイサービス を中心に～」 「障害を持つ子どもへの支援～すべての子 どもが将来のインクルーシブ社会への担い 手に～」	支援員	90人
令和元年10月10日(木)	第4回支援員研修 「地域で子どもを見守る取組 長野市の児童虐待の状況と市の対処方法 ～こどもの命を守る～」 「子どもの行動の背景と、子どもとのコミ ュニケーションへ支援に携わる者として ～」	支援員	86人

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和元年 11 月 28 日(木)	全体研修会 「放課後子ども総合プラン施設での子どもたちの一歩先を見つめた支援～こんな支援が成長を支える～」	館長、施設長、コーディネーター、支援員、補助員	208 人

### (3) 介護サービス課職員研修

実施日	内 容	対象者	参加者数
平成 31 年 4 月 2 日(火)	新規採用職員研修	新規採用者	10 人
平成 31 年 4 月～6 月	エルダーメンター研修	新規採用者	9 人
毎月 1 回	山下総司氏 通所介護業務改善研修	通所介護員	
平成 31 年 4 月 19 日(金)	介護支援専門員研修 演習助言者フォローアップ	介護支援専門員	3 人
令和元年 5 月 8 日(水)～ 令和元年 5 月 9 日(木)	甲種防火管理新規講習	管理者	1 人
令和元年 6 月 5 日(水)～ 令和元年 6 月 6 日(木)	甲種防火管理新規講習	管理者	3 人
令和元年 5 月 24 日(金) 令和元年 6 月 21 日(金)	生涯研修 新人育成担当課程	介護職員・経営 戦略担当	4 人
令和元年 6 月 14 日(金)	苦情対応実践講座	管理者	5 人
令和元年 5 月 21 日(火)～ 令和元年 10 月 4 日(金) 全 12 回	主任介護支援専門員研修	介護支援専門員	6 人
令和元年 5 月 21 日(火)～ 令和元年 7 月 23 日(火) 全 6 回	認知症介護実践者研修	通所職員	1 人
令和元年 6 月 11 日(火)～ 令和元年 6 月 13 日(木)	応急手当普及員講習	包括職員	1 人
令和元年 6 月 13 日(木)	生涯研修 新任管理者課程	管理者	5 人
令和元年 6 月 26 日(水)	介護予防ケアマネジメント 新規事業所研修	包括・居宅職員	4 人

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和元年7月10日(水)～ 令和元年7月12日(金)	応急手当普及員講習	介護職員	2人
令和元年7月12日(金)	応急手当普及員再研修	介護職員・施設 長	3人
令和元年7月12日(金) 令和元年9月27日(金)	生涯研修 キャリアマネージャー養成課程	管理職・経営戦 略担当	4人
令和元年8月3日(土)	リハビリアプローチセミナー	通所機能訓練指 導員	2人
令和元年8月5日(月)～ 令和元年8月6日(火)	生涯研修 チームリーダー課程	管理者・係長・ 主任	4人
令和元年9月3日(火)	包括・居宅全体研修	包括・居宅職員	48人
令和元年9月12日(木)～ 令和元年9月13日(金)	生涯研修 管理者課程	施設長	5人
令和元年9月26日(木)	応急手当普及員再研修	介護職員	1人
令和元年9月～11月	エルダーメンター研修	新規採用者	3人
令和元年9月～11月	アセッサー講習	介護職員	2人
令和元年10月3日(木)	応急手当普及員再研修	介護職員・介護 支援専門員	2人
令和元年10月8日(火)	認定調査員新規研修	介護支援専門員	2人
令和元年10月10日(木)	応急手当普及員再研修	介護職員・介護 支援専門員	5人
令和元年10月3日(木) 令和元年11月7日(木)	生涯学習 OJT リーダー研修	介護職員	5人
令和元年12月4日(水)～ 令和元年12月6日(金)	応急手当普及員講習	介護職員	1人
令和2年1月～3月	エルダーメンター研修	新規採用者	1人
令和2年1月17日(金)	介護支援専門員実務研修実習指導者養成 研修	介護支援専門員	2人
令和2年1月15日(水)～ 令和2年1月16日(木)	認知症対応型サービス事業 管理者研修	介護職員	2人

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和2年1月22日(水)	応急手当普及員再研修	介護支援専門員	1人
令和2年2月18日(火)～ 令和2年2月20日(木)	応急手当普及員講習	保健師	1人
令和2年2月18日(火)	令和元年度新規採用職員研修	年度途中採用職員	13人
令和2年3月8日(日)	応急手当普及員再研修	介護職員	1人

#### (4) 地域福祉課職員研修

実施日	内 容	対象者	参加者数
令和元年5月10日(木)	市町村社協実務者会議	日常生活自立支援事業、生活困窮者自立支援事業等	2人
令和元年5月15日(水)	ギャンブル等依存症啓発講演会	保健・医療・福祉関係機関等	4人
令和元年5月22日(水)	日常生活自立支援事業及び生活福祉資金貸付事業会議	きぼう相談員及び地域福祉課担当職員	2人
令和元年5月16日(木) 令和元年7月18日(木) 令和元年8月22日(木) 令和2年1月16日(木)	総合相談体制整備の観点から、地域における「よろず相談窓口」としての機能充実を目的とした事例研究等の研修を定期的実施した	地域たすけあい事業コーディネーター	延べ 100人
令和元年8月28日(水)	令和元年度 日常生活自立支援事業 生活支援員連絡会	日常生活自立支援事業生活支援員	9人
令和元年10月23日(水) 令和元年10月24日(木) 令和元年11月1日(金) 令和元年11月6日(水) 令和元年11月8日(金)	地域たすけあい事業の高齢運転協力会員を対象とした安全運転研修(実技中心)	地域たすけあい事業運転協力会員	34人

### Ⅲ 事業実績（資料）

#### 事業理念1

住民参加・協働による福祉を基盤としたまちづくり

#### 運営方針 ア 実績資料

別表1（事業No.4）福祉のまちづくりを進めるための実践事業及び小地域福祉懇談会助成事業実績

事業名	実施数	助成金額
(1)福祉のまちづくり啓発事業	22 地区	541,531 円
(2)地域福祉懇談会事業	18 地区	493,919 円
(3)介護者支援事業	19 地区	363,417 円
(4)福祉推進員活動事業	27 地区	615,071 円
(5)男性地域デビュー促進事業	23 地区	445,000 円
(6)きぼうの旅事業	15 地区	745,500 円
(7)サロン事業	718グループ	6,434,514 円
(8)福祉自動車運行事業	25 地区	7,500,000 円
(9)子育て・子育て支援事業	18 地区	852,354 円
(10)地区独自課題対応事業	24 地区	1,079,790 円
合 計		19,071,096 円 (20,024,074 円)

※（ ）内数字は、平成30年度

別表2（事業No.8）社会を明るくする運動推進事業実績

#### 1 各地区助成状況一覧

地区名	助成回数	作文発表	講演会	映画会	懇談会	演奏会 等発表	P R 他	住民集会 参加者数	地区推進 委員会
第 一	1								7/17
第 二	2					7/19		27	6/21
第 三	1								7/12
第 四									
第 五									
芹 田	2			7/26		7/26	7/26	110	5/24
古 牧	1	10/6	10/6					105	
三 輪									
吉 田									
古 里	2		7/6					83	6/17
柳 原	2		8/25					48	2 回



地区名	助成回数	作文発表	講演会	映画会	懇談会	演奏会 等発表	P R 他	住民集会 参加者数	地区推進 委員会
浅 川	2	7/29	7/29					130	6/11
大豆島	2	7/6	7/6					90	5/30
朝 陽									
若 槻	2	7/6	7/6					140	2 回
長 沼									6/16
安茂里	2		6/29					100	5/10
小田切	2		7/2					31	4/12
芋 井	2		12/6					54	6/27
篠ノ井	2		1/25		2 回	11/29		471	2 回
松 代	2	7/13	7/13					114	6/8
若 穂	2					7/13		654	5/14
川中島	2						7/5	28	5/30
更 北									
七二会	2		7/22					80	4/26
信 更	2	12/7	12/7					65	6/27
豊 野	1								6/7
戸 隠	2		11/2				11/2	90	6/20
鬼無里									
大 岡	1								7/8
信州新町									
中 条	1		7/11				7/11	21	6/28
合 計	22 地区 40 回	6 地区	15 地区	1 地区	1 地区	4 地区	4 地区	2,441 人	23 地区 26 回
(参考) 30 年度	24 地区 43 回	5 地区	13 地区	-	2 地区	6 地区	5 地区	2,023 人	25 地区 30 回

※地区推進委員会 1 回につき 5,000 円、地区住民集会 1 回につき 15,000 円以内を助成した。

## 2 広報活動の実施

- (1) 有線放送、各地区での広報活動等、周知を図るための活動を行った。
- (2) 挨拶ポスター1,200 枚を各行政区、学校関係（小・中・高・特殊諸学校）、市役所、市社協、児童館に配布した。

別表3 (事業No.9) 災害見舞金事業実績

(金額:円)

種別	区分	件数	市社協 @10,000	県共募 @10,000 (@5,000)	日赤 県支部 @10,000	合計	
住宅 罹災	火災	全焼	7	70,000	70,000	毛布(7枚)	140,000
		半焼	5	50,000	50,000	毛布(6枚)	100,000
		集合住宅	0	0	0	0	0
	災害	全壊	0	0	0	0	0
		半壊	1	10,000	10,000	0	20,000
		床上浸水	0	0	0	0	0
小計		13	130,000	130,000	毛布(13枚)	260,000	
事故 死等	交通事故	4	40,000			40,000	
	その他事故	1	10,000			10,000	
	火災死亡	3	30,000	30,000	30,000	90,000	
	小計	8	80,000	30,000	30,000	140,000	
合計		21	210,000	160,000	30,000	400,000	
(参考)平成30年度		24	340,000	220,000	40,000	600,000	

※県共同募金会の見舞金( )内は、下宿・寄宿舍・病院等で罹災の場合に適用します。

### 運営方針 イ 実績資料

別表4 (事業No10) 地域たすけあい事業実績

(単位:件・人)

項目		年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
サービス総実施件数			40,778	40,690	40,275
内 訳	家事援助サービス		3,718	4,383	4,490
	福祉移送サービス		37,060	36,307	35,785
利用会員数			3,212	2,485	2,748
協力会員数			543	483	507

別表5 (事業No.17、35) 第65回長野市社会福祉大会の開催実績

- 1 期 日 令和元年8月27日(水)
- 2 会 場 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール
- 3 参加者数 約150人
- 4 内 容
  - (1) 式典 午後2時~午後2時40分
    - 顕彰(社会福祉関係功労者等に対し、大会壇上において顕彰した。)
      - ア 社会福祉功労者 79人
      - イ 優良住民自治協議会等 2地区

- ウ 社会福祉事業協助者（感謝） 24人（団体等含む）
- (2) 講演 午後2時50分～午後4時30分
- 標題 笑い与健康
- 講師 立川 談慶 氏 （落語家）

**運営方針 ウ 実績資料**

**別表6（事業No.21、22、24）老人福祉センター等管理経営事業等の実施実績**

1 高齢者生きがいづくり事業及びボランティアコーディネート事業実績

項目 施設	年間件数					年間利用者数(人)		
	教養・生きがいづくり講座	地域福祉活動	グループ・団体活動	その他の事業	計	平成29年度	平成30年度	令和元年度
三陽	182	245	681	685	1,793	17,939	18,743	13,265
安茂里	235	301	525	191	1,262	14,842	15,100	13,950
篠ノ井	—	—	—	—	—	13,647	12,958	—
氷鉋	230	344	1,194	619	2,387	25,219	23,865	20,647
鬼無里	86	39	54	104	283	3,541	3,653	3,508
信州新町	370	29	311	167	877	6,910	6,892	6,658
中条	80	247	98	229	654	3,647	3,458	4,271
合計	1,183	1,205	2,863	1,995	7,256	85,745	84,669	62,299

※延べ実施回数及び人数

※篠ノ井は平成31年度より篠ノ井地区住民自治協議会の運営となり、平成30年度末で当会での管理経営は終了。

2 氷鉋老人憩の家利用実績

年度別	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	14,599	13,034	10,599

※延べ人数

**別表7（事業No.29）ボランティアコーディネート事業実績**

1 件数

項目 \ 年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談・調整件数	20,656	20,225	19,956

2 内訳

項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
調整ケース件数	ボランティアしたい	333	269	192
	ボランティア求む	514	332	146
	情報求む	457	316	154
	ボランティア活動支援	521	207	90
	ボランティア活動上の悩み	47	12	8
	よろず相談・悩み	103	136	46
	ボランティア保険・事故処理	48	41	28
	ボランティアセンター事業	286	237	97
	福祉共育	28	80	43
	ボランティア活動要請	40	74	68
	寄付関係	223	273	108
	その他	-	19	42
計		2,600	1,996	1,022
簡易相談件数	情報提供	2,558	1,926	1,773
	チラシ・掲示	701	569	423
	機材貸出	1,696	1,500	1,281
	会議室予約	2,797	2,890	2,577
	伝言	1,096	1,095	1,012
	よりいい会	6,305	6,969	8,757
	その他	2,903	3,280	3,131
	計	18,056	18,229	18,954
合計		20,656	20,225	19,956

**別表8（事業No.29）ボランティア活動機材の貸し出し事業実績**

機材名	件数	機材名	件数	機材名	件数
車椅子	102件 (328台)	アイマスク	21件 (705枚)	白杖	25件 (467本)
点字板	10件 (302枚)	コピー機	815件	印刷機	647件
その他	77件				

別表9 (事業No.30) ボランティア・地域づくり講座の開催事業実績

No.	日時	内容	講師	参加者数
1	7月5日(金) 14:00～17:00	「気づいた課題をどうする？」 豊かな発想で地域づくりを考える」 地域や社会の課題を柔軟に考えるために必要な「発想力を育む」スキルアップ講座	小林 博明さん (まちの縁側育みプロジェクト ながの代表)	13名
2	9月4日(水) 13:30～17:00	「日常生活での困りごとの見える化 支え合いマップの視点から手法を学ぶ」 「支え合いマップ」を通じて、ご近所の福祉 について共に考える講座	木原 孝久さん (住民流福祉総合研究所所長)	44名
3	10月19日(土) 13:00～16:30	「まちの縁側講座 in 古里地区」 古里総合市民センターを中心にまち歩きを 行い、こんなところに人とつながることができる 場所がある、ものがある、そんな地域のお 宝を一緒に探す講座	まちの縁側育みプロジェクト ながの	中止
4	10月23日(水) から 12月12日(木)	「ボランティアへの入口」 ボランティアへの入口を幅広く、ともに考える 講座として企画する。3講座を受講すること で、ボランティアの入口を学ぶ講座	ボランティアセンター職員	中止
5	11月7日(木) 10:00～16:00	「傾聴への入口講座」 相手の話を聴き、心を受け止める「傾聴」に ついて、相手が気持ちよく話すことができる 聴き方の始めの一步を学ぶ講座	末松 渉さん (臨床心理士、東京都スクールカウ ンセラー、東京いのちの電話理事 長兼研修委員長、清泉女子大学 非常勤講師)	中止
6	1～2月頃	「私の地域づくり」 実際の取り組み事例を知り、地域づくりに活 かす講座	—	中止
	合計	2講座		57名

※令和元年東日本台風の影響でNo.3以降の講座は中止とした。

別表 10 (事業No.32) 児童館・児童センター・放課後子どもプラザの管理経営事業実績

1 児童館の管理経営状況 (児童センター31館、児童館5館) (単位：人)

No.	名 称	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数
1	箱清水 児童センター	93	11,076	71	8,086	68	8,565
2	長野中央 児童館	40	6,130	—	—	—	—
3	加茂 児童センター	68	11,458	79	13,120	89	15,465
4	芹田 児童センター	192	28,754	—	—	—	—
5	古牧 児童センター	140	24,819	128	21,478	129	20,573
6	日詰 児童館	56	8,165	61	9,147	50	7,270
7	三輪 児童センター	154	27,863	152	27,747	152	25,152
8	裾花 児童センター	79	12,071	89	15,965	60	11,916
9	柳町 児童センター	78	15,640	85	15,584	80	12,955
10	湯谷 児童センター	78	13,826	81	12,792	76	12,693
11	南部 児童センター	109	17,524	134	21,032	147	23,541
12	大豆島 児童センター	245	41,041	245	43,385	236	39,173
13	朝陽 児童センター	128	19,338	118	20,345	120	18,827
14	柳原 児童センター	84	15,847	87	18,304	98	19,894
15	長沼 児童センター	54	11,661	52	11,675	47	9,869
16	古里 児童センター	222	29,349	157	24,090	171	24,226
17	若槻 児童館	69	10,930	57	9,076	61	11,379
18	徳間 児童センター	108	22,777	113	23,520	101	19,835
19	浅川 児童センター	58	4,918	42	5,387	41	4,916
20	芋井 児童センター	21	4,490	20	4,261	24	4,219
21	安茂里 児童センター	105	15,409	85	14,343	98	14,450
22	松ヶ丘 児童センター	67	11,132	62	11,017	48	8,879
23	篠ノ井中央児童センター	136	24,102	160	28,308	177	29,881
24	篠ノ井東 児童センター	100	16,269	96	14,873	94	14,726
25	篠ノ井西 児童センター	89	16,551	86	17,330	71	13,248
26	共和 児童センター	144	28,890	136	28,784	128	25,713
27	塩崎 児童館	71	11,958	64	11,005	52	9,852
28	松代花の丸児童センター	94	17,483	85	15,634	89	14,828
29	豊栄 児童館	41	5,892	38	5,341	37	6,039
30	松代東条 児童センター	53	10,210	52	11,013	58	11,419
31	綿内 児童センター	125	21,207	112	20,006	130	22,476
32	川田 児童館	98	16,207	72	10,613	76	10,808
33	保科 児童センター	81	7,814	61	7,615	59	8,116

No.	名 称	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数
34	昭和 児童センター	175	32,401	156	24,610	149	24,273
35	川中島 児童センター	121	23,433	118	20,462	113	19,638
36	青木島 児童センター	96	18,456	88	16,198	101	17,740
37	下氷鮑 児童センター	104	18,307	119	20,227	111	18,480
38	三本柳 児童センター	126	24,974	150	26,437	148	27,249
39	真島 児童館	33	6,435	—	—	—	—
合 計		3,935	664,807	3,511	608,810	3,489	588,283

※ 登録児童数は各年度 4 月 1 日現在

※ 長野中央児童館・芹田児童センター・真島児童館は平成 29 年度末で廃止となったため、平成 30 年度・令和元年度の実績は記載していない。

## 2 放課後子どもプラザの管理経営状況（プラザ 46 施設）

（単位：人）

No.	名 称	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数
1	城山子どもプラザ	167	13,997	136	12,632	111	12,779
2	鍋屋田子どもプラザ	59	5,380	118	14,122	124	12,309
3	加茂子どもプラザ	43	2,232	30	2,606	45	4,348
4	山王子子どもプラザ	145	15,583	117	15,160	106	14,692
5	芹田子どもプラザ	119	8,681	298	40,274	328	44,047
6	古牧子どもプラザ	99	11,464	110	11,884	124	15,459
7	緑ヶ丘子どもプラザ	172	20,292	171	19,727	168	18,321
8	三輪子どもプラザ	111	9,973	79	7,585	89	11,143
9	裾花子どもプラザ	164	12,082	131	12,310	130	16,685
10	城東子どもプラザ	62	3,797	48	5,002	52	5,946
11	湯谷子どもプラザ	88	7,154	80	8,519	80	8,395
12	南部子どもプラザ	172	19,021	154	13,787	144	13,143
13	大豆島子どもプラザ	160	15,022	144	14,623	141	15,052
14	朝陽子どもプラザ	96	8,291	104	10,794	94	11,255
15	柳原子どもプラザ	123	10,687	88	8,663	91	9,438
16	古里子どもプラザ	92	6,761	99	9,041	94	10,167
17	若槻子どもプラザ	109	11,495	112	15,990	115	15,886
18	徳間子どもプラザ	131	16,619	135	16,692	129	19,333
19	浅川子どもプラザ	153	8,146	67	8,124	89	11,225

No.	名 称	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数	登録 児童数	年間延べ 利用児童数
20	安茂里子どもプラザ	63	5,711	45	5,466	41	3,887
21	松ヶ丘子どもプラザ	91	6,723	65	6,562	76	7,420
22	通明子どもプラザ	202	18,086	149	16,736	166	17,604
23	篠ノ井東子どもプラザ	116	13,624	132	13,246	149	12,690
24	篠ノ井西子どもプラザ	286	49,173	270	45,415	221	42,976
25	共和子どもプラザ	116	9,343	229	10,528	102	13,892
26	信里子どもプラザ	48	7,482	39	6,311	32	5,756
27	塩崎子どもプラザ	72	5,930	47	5,422	60	8,503
28	松代花の丸子どもプラザ	35	4,170	38	4,547	28	2,776
29	清野子どもプラザ	43	5,602	38	5,918	31	4,787
30	西条子どもプラザ	41	6,768	40	6,324	41	6,156
31	東条子どもプラザ	38	5,009	35	4,893	24	2,824
32	寺尾子どもプラザ	64	8,782	65	9,439	66	10,063
33	綿内子どもプラザ	24	2,032	29	3,119	25	2,064
34	昭和子どもプラザ	87	6,859	96	7,677	93	7,740
35	川中島子どもプラザ	146	13,704	114	11,353	98	12,200
36	青木島子どもプラザ	71	8,321	64	7,202	55	7,468
37	下氷鉤子どもプラザ	104	10,014	96	8,941	84	9,858
38	三本柳子どもプラザ	125	13,647	129	12,950	153	13,388
39	真島子どもプラザ	36	2,387	51	8,513	57	8,600
40	七二会子どもプラザ	44	4,222	27	3,209	22	2,876
41	信更子どもプラザ	37	7,310	33	6,852	29	5,778
42	戸隠子どもプラザ	71	6,663	51	4,716	32	3,870
43	鬼無里子どもプラザ	25	5,018	20	4,489	23	4,385
44	大岡子どもプラザ	21	4,043	5	2,276	12	1,919
45	信州新町子どもプラザ	84	9,470	56	7,475	54	6,507
46	中条子どもプラザ	53	6,404	40	5,799	32	4,497
	合 計	4,408	453,174	4,224	482,913	4,060	500,107

※ 登録児童数は各年度 4 月 1 日現在



別表 11 (事業No.33) ふれあい福祉センター管理経営事業実績

(単位：件・人)

年度	件 数								利用者数
	会議室1	会議室2	会議室3	会議室4	研修室	料理実習室	ホール	合計	合計
24	362	799	775	736	760	282	696	4,410	93,464
25	299	808	763	762	725	274	787	4,398	88,974
26	323	846	789	781	760	274	823	4,596	91,156
27	314	775	673	725	778	239	714	4,218	91,005
28	307	824	722	735	763	295	756	4,402	93,679
29	455	799	724	727	755	300	741	4,501	87,594
30	581	777	701	719	691	317	739	4,525	91,075
R1	327	818	722	747	720	312	727	4,373	81,430

運営方針	工	実績資料
------	---	------

別表 12 (事業No.34) 賛助会員・寄付者名簿

## 1 賛助会員 (敬称略)

No.	年月日	会費 (円)	氏 名
1	R1. 9. 30	20,000	匿名
2	R1. 10. 8	10,000	匿名
3	R2. 2. 6	10,000	匿名
合計		40,000	

## 2 寄付者名簿 (敬称略)

No.	年月日	金額 (物品)	氏 名	住 所
1	R1. 6. 27	車椅子 2 台	フジモト HD 株式会社	東京都千代田区
2	R1. 5. 7	20,000	長野モラロジー事務所	長野市平林
3	R1. 5. 23	防災ガイドブック 「東京くらし防災」 3 冊	市村 英樹	長野市丹波島
4	R1. 6. 10	100,000	西林 里子	長野市川中島町
5	R1. 6. 21	タオル等	公益社団法人 生命保険ファイナンシャル アドバイザー協会	東京都中央区

6	R1. 5. 29	25,000	匿名	
7	R1. 5. 31	25,000	匿名	
8	R1. 6. 18	25,000	匿名	
9	R1. 6. 19	25,000	匿名	
10	R1. 6. 28	25,000	匿名	
11	R1. 6. 28	25,000	匿名	
12	R1. 7. 18	車椅子 4 台	匿名	
13	R1. 10. 1	8,000	長野市ママさんバレーボールクラブ	長野市栗田
14	R1. 11. 1	石油ストーブ 56 台(中古) 灯油 1,000ℓ ポリタンク 10 個	ライオンズクラブ国際協会 336-C 地区 1R. 3Z. 福山あいライオンズクラブ 会長 橘高庸泰	広島県福山市
15	R1. 11. 1	6,421,771	匿名	
16	R1. 11. 19	2,238	ちょこん倶楽部	長野市豊野町
17	R1. 11. 27	9,449	NTT 労組退職者の会長野地区協議会 会長 藤井健治	長野市新田町
18	R1. 12. 2	90,000	長野市ママさんバレーボール連盟 会長 黒柳孝子	長野市吉田
19	R1. 12. 3	500,000	宗教法人 真如苑 信越本部	長野市吉田
20	R1. 12. 11	50,000	匿名	
21	R1. 12. 11	10,000	匿名	
22	R1. 12. 24	石油ファンヒーター 75 台 (中古)	社会福祉法人 関市社会福祉協議会	岐阜県関市
23	R1. 12. 26	テルモ電子血圧計	匿名	
24	R1. 12. 17	自転車 (新品) 5 台	匿名	
25	R2. 2. 13	未使用タオル 180 本	公益社団法人 生命保険ファイナンシャル アドバイザー協会長野県協会	長野市南石堂町
26	R2. 2. 14	手作り杖 22 本	松林 要	長野市松代
27	R2. 1. 27	47,551	氷鉋囲碁同好会	
28	R2. 1. 27	碁盤 2 台、碁石 31 組	氷鉋囲碁同好会	
29	R2. 3. 12	50,000	匿名	
30	R2. 3. 27	10,000	匿名	

31	R2. 3. 31	6, 887	匿名	
32	R1. 12. 10	車いす 2 台	「小さな親切」運動長野支部	長野市新田町
合計件数(金額)				8, 107, 896
うち物品受付(金額換算)				632, 000
うち現金受付(金額)				7, 475, 896

### 3 災害活動支援金

災害ボランティアセンターの運営や被災地域の復興支援にあたっての資金確保のため、災害活動支援金を募集した。募集期間は令和3年3月31日まで。(下表は令和2年3月31日までの実績)

寄付件数	寄付金額
83 件	3, 846, 159 円

#### 別表 13 (事業No.36) 共同募金運動協力事業実績

項目 \ 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
目 標 額	58, 347, 000 円	57, 990, 000 円	57, 640, 000 円
実 績 額	56, 474, 349 円	55, 621, 989 円	54, 400, 614 円
達 成 率	96. 79%	95. 91%	94. 38%

#### 別表 14 (事業No.37) 共同募金配分金事業実績

共同募金における市社協にかかる配分を行った。

(募金年度：平成30年度、予算執行年度：令和元年度)

当初の計画		実績に基づく配分	
募金目標	57, 990, 000円	募金実績	55, 621, 989円
県への配分	25, 426, 000円	県への配分	25, 426, 000円
市への配分	32, 564, 000円	市への配分	※ 30, 195, 989円

※ うち 市社協配分額 23, 224, 016円

うち 住自協配分額 6, 971, 973円

#### 別表 15 (事業No.37) 法外援護事業実績

(金額：円)

年 度	行旅困難者旅費		行旅困難者医療費		簡易宿泊費		合計	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
平成24	74	91, 110	0	0	0	0	74	91, 110
平成25	44	48, 010	1	5, 332	0	0	45	53, 342

年 度	行旅困難者旅費		行旅困難者医療費		簡易宿泊費		合計	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
平成26	23	40,580	0	0	0	0	23	40,580
平成27	40	50,280	0	0	0	0	40	50,280
平成28	30	40,060	0	0	0	0	30	40,060
平成29	25	24,770	0	0	0	0	25	24,770
平成30	28	185,730	0	0	0	0	28	185,730
令和 1	25	122,670	0	0	0	0	25	122,670

※平成30年度から繰越金により対応するため、共同募金からの配分金の交付は一時休止している。

**別表 16 (事業No.38) 日赤活動資金募集事業実績**

項目 \ 年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目 標 額	56,922,000 円	57,546,000 円	56,852,000 円
実 績 額	50,728,223 円	49,842,608 円	48,679,477 円
達 成 率	89.12%	86.61%	85.62%

**別表 17 (事業No.18、39、40、41、42、43) 事務受託団体一覧 (9 団体)**

No.	団 体 名	代 表 者		会 員・構 成
1	長野市民生委員児童委員協議会	会 長	伊 藤 篤 志	875 人
2	長野市遺族会	会 長	横 田 久	1,861 人
3	日本赤十字社長野県支部長野市地区	地区長	加 藤 久 雄	—
4	長野県共同募金会長野市共同募金委員会	会 長	小 泉 栄 正	—
5	長野市赤十字奉仕団	委員長	和 田 充 子	3,260 人
6	長野市手をつなぐ育成会	会 長	塚 田 なおみ	259 人
7	長野地区保護司会	会 長	千 野 裕 文	153 人
8	長野地区更生保護女性会	会 長	山 崎 春 代	1,145 人
9	長野圏域介護保険事業者連絡協議会	会 長	寺 田 裕 明	106 事業者

※令和2年3月31日現在

## 事業理念 2

その人らしい生き方や暮らしを尊重した支援の実施

運営方針 ア 実績資料

別表 18 介護等実習生の受入事業実績

学校名等	延べ人数	学校名等	延べ人数
長野赤十字看護学校	80	信州医療福祉専門学校	59
三幸福祉カレッジ	0	長野女子短期大学	12
長野社会福祉専門学校	21	信濃の星	16
長野県社会福祉協議会	104	上田女子短期大学	3
長野ビジネスアカデミー	5	松本短期大学	12
介護労働安定センター	2		
合 計			314(413)

※ ( ) 内数字は、平成 30 年度

別表 19 (事業No.53) 居宅介護支援事業実績

### 1 体制

事業所名	介護支援専門員数	車両台数	備 考
ふれあい介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	5	5	外兼務 1 人、特事
三陽介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	6	5	外兼務 1 人、特事
吉田介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	6	4	特事
安茂里介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	7	5	外兼務 1 人、特事
篠ノ井介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	5	5	外兼務 1 人、特事
豊野介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	0	0	
鬼無里介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	2	1	外兼務 1 人
大岡介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	2	1	外兼務 1 人
信州新町介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	1	1	
中条介護サービスセンター 居宅介護支援事業所	2	2	外兼務 1 人、特事
合 計	36 (45)	29(30)	

※（ ）内数字は、平成 30 年度

※常勤職員数は令和 2 年 3 月 31 日現在の人数（以下同様）

※豊野は、令和元年東日本台風により、事業所被災のため令和 2 年 2 月 1 日より休止。

※備考欄「特事」は特定事業所

## 2 実績

事業所名	利用（居宅サービス計画作成）件数		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
ふれあい	2,417	2,258	2,050
三陽	1,453	1,411	1,432
吉田	1,736	1,698	1,797
安茂里	3,008	2,703	2,668
篠ノ井	2,176	1,941	1,934
豊野	1,713	1,744	1,292
鬼無里	792	667	740
大岡	516	531	546
信州新町	326	329	312
中条	945	780	777
合 計	15,082	14,062	13,548

※豊野は、令和元年東日本台風により、事業所被災のため令和 2 年 2 月 1 日より休止。

## 3 要介護認定調査業務実績

事業所名	認定調査件数		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
ふれあい	18	22	11
三陽	23	19	6
吉田	17	21	13
安茂里	26	20	23
篠ノ井	17	20	13
豊野	11	8	6
鬼無里	4	5	0
信州新町	8	6	3
中条	10	2	3
合 計	134	123	78

**別表 20（事業No.53）介護予防支援業務の受託（介護給付）サービス事業実績**

居宅介護支援事業所名	利用（介護予防サービス計画作成）件数		
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
ふれあい	172	161	69
三陽	70	79	47
吉田	24	20	12
安茂里	410	297	271
篠ノ井	282	281	258
豊野	16	59	32
鬼無里	265	304	250
大岡	551	515	416
信州新町	115	87	66
中条	345	330	353
合 計	2, 250	2, 133	1, 774

※豊野は、令和元年東日本台風により、事業所被災のため令和 2 年 2 月 1 日より休止。

**別表 21（事業No.54）訪問介護事業実績**

1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数	備 考
ふれあい介護サービスセンター 訪問介護事業所	2	3	外兼務 9 人、特事
東長野介護サービスセンター 訪問介護事業所	10	8	外兼務 2 人、特事
安茂里介護サービスセンター 訪問介護事業所	5	7	特事
篠ノ井介護サービスセンター 訪問介護事業所	5	5	特事
戸隠介護サービスセンター 訪問介護事業所	2	5	特事
戸隠介護サービスセンター 鬼無里サテライト訪問介護事業所	1	1	特事
信州新町介護サービスセンター 訪問介護事業所	3	5	特事
信州新町介護サービスセンター 中条サテライト訪問介護事業所	1	2	
合 計	29 (35)	36 (39)	

※鬼無里は H30. 10. 1 より戸隠のサテライト、中条は R1. 10. 1 より信州新町のサテライトとした。

※（ ）内数字は、平成 30 年度

※備考欄「特事」は特定事業所

## 2 訪問介護実績

事業所名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	408	5,825	262	3,820	0	0
東長野	658	12,707	630	11,044	824	13,529
安茂里	655	8,706	488	5,922	439	5,817
篠ノ井	583	8,242	419	6,226	398	5,390
戸 隠	277	5,732	363	6,663	372	6,175
鬼無里	161	2,293	0	0	0	0
信州新町	420	4,605	372	3,896	433	4,515
中 条	260	3,020	255	2,985	128	1,573
合 計	3,422	51,130	2,789	40,556	2,594	36,999

※鬼無里は H30. 10. 1 より戸隠のサテライト化。H30. 9. 30 までは介護予防訪問介護相当サービスのみ実施。

※ふれあいは、H31. 3. 31 をもってサービスを廃止し、東長野と統合した。

※中条は、R1. 10. 1 より信州新町のサテライトとしたため、R1. 9. 30 までの実績。

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

## 3 介護予防訪問介護実績（経過措置対象者）

事業所名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	5	33	—	—	—	—
東長野	35	212	—	—	—	—
安茂里	33	196	—	—	—	—
篠ノ井	25	155	—	—	—	—
戸 隠	2	14	—	—	—	—
鬼無里	5	19	—	—	—	—
信州新町	9	35	—	—	—	—
中 条	18	84	—	—	—	—
合 計	132	748	—	—	—	—

※H30. 4. 1 より介護予防相当サービスに完全移行

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

## 4 介護予防訪問介護相当サービス実績

事業所名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	240	1,209	335	1,566	454	2,321
東長野	346	1,799	229	1,256	—	—



事業所名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
安茂里	257	1,688	284	1,763	224	1,373
篠ノ井	237	1,615	286	1,692	233	1,514
戸 隠	69	447	19	116	38	221
鬼無里	11	46	49	280	—	—
信州新町	160	731	193	901	252	1,222
中 条	93	421	86	456	52	257
合 計	1,413	7,956	1,481	8,030	1,253	6,908

※鬼無里はH30.10.1より戸隠のサテライトとしたため、H30.9.30までの実績。

※中条は、R1.10.1より信州新町のサテライトとしたため、R1.9.30までの実績。

※東長野は、H31.3.31をもってサービスを廃止し、ふれあいと統合した。

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※平成28年10月1日から新総合事業開始に伴い、サービス提供開始

## 別表 22 (事業No.55) 通所介護事業実績

### 1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数	備考
三陽介護サービスセンター 通所介護事業所	7	5	
柳町介護サービスセンター 通所介護事業所	6	7	外兼務1人
吉田介護サービスセンター 通所介護事業所	9	6	外兼務1人
安茂里介護サービスセンター 通所介護事業所	6	8	外兼務1人
篠ノ井介護サービスセンター 通所介護事業所	8	6	
氷鉦介護サービスセンター 通所介護事業所	7	5	
戸隠介護サービスセンター 通所介護事業所	3	8	外兼務2人
鬼無里介護サービスセンター 通所介護事業所	5	8	外兼務3人
大岡介護サービスセンター 通所介護事業所	4	4	外兼務3人
中条介護サービスセンター 通所介護事業所	4	8	
合 計	59 (63)	65 (59)	

※ ( ) 内数字は、平成30年度

## 2 通所介護事業実績

事業所名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
三 陽	841	6,994	765	6,467	706	6,269
柳 町	1,047	8,289	1,001	7,643	1,063	7,876
芋 井	—	—	—	—	—	—
吉 田	961	8,340	932	8,045	932	8,061
安茂里	1,222	9,135	1,317	10,337	1,281	10,460
篠ノ井	791	6,176	740	5,525	810	6,113
氷 鮑	671	5,689	663	5,506	638	5,541
鬼無里	445	3,376	361	2,743	—	—
中 条	643	4,495	608	3,890	606	3,931
合 計	6,621	52,494	6,387	50,156	6,036	48,251

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※芋井は、柳町介護サービスセンター通所介護事業所のサテライトで28年度から休止中

※平成31年4月より鬼無里は地域密着型へ移行。

## 3 地域密着型通所介護実績

施設名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
戸隠	431	3,752	426	4,000	413	4,190
鬼無里	—	—	—	—	443	3,444
大岡	313	2,338	330	2,435	308	2,049
合 計	744	6,090	756	6,435	1,164	9,683

※平成28年度から開始

※平成31年4月より鬼無里は地域密着型へ移行。

## 4 介護予防通所介護実績（経過措置対象者）

事業所名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
三 陽	8	53	—	—	—	—
柳 町	11	59	—	—	—	—
芋 井	—	—	—	—	—	—
吉 田	3	16	—	—	—	—
安茂里	35	189	—	—	—	—
篠ノ井	29	169	—	—	—	—
氷 鮑	11	70	—	—	—	—

事業所名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
戸 隠	5	29	—	—	—	—
鬼無里	8	53	—	—	—	—
大 岡	25	108	—	—	—	—
中 条	35	198	—	—	—	—
合 計	170	944	—	—	—	—

※H30. 4. 1 より介護予防相当サービスに完全移行

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※芋井は、柳町介護サービスセンター通所介護事業所のサテライトで 28 年度から休止中

## 5 介護予防通所介護相当サービス実績

事業所名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
三 陽	108	700	—	—	—	—
柳 町	332	1,848	300	1,720	368	1,941
芋 井	—	—	—	—	—	—
吉 田	255	1414	229	1,429	228	1,477
安茂里	386	1882	330	1,770	466	2,491
篠ノ井	279	1818	285	1,733	357	1,959
氷 鮑	197	1067	298	1,780	334	1,910
戸 隠	91	515	103	539	96	534
鬼無里	116	545	141	766	118	626
大 岡	348	1377	321	1,314	304	1,261
中 条	317	1557	388	1,922	338	1,738
合 計	2,429	12,723	2,395	12,973	2,609	13,937

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

※芋井は、柳町介護サービスセンター通所介護事業所のサテライトで 28 年度から休止中

※平成 28 年 10 月 1 日から新総合事業開始に伴い、サービス提供開始

※三陽は、H30. 3. 31 をもってサービスを廃止した。

## 別表 23 (事業No.56) 短期入所生活介護事業実績

### 1 体制

施設名	利用定員	常勤職員数	車両台数	備考
鬼無里介護サービスセンター やすらぎ	8	2	1	外兼務 6 人
大岡介護サービスセンター ことぶき荘	12	2	1	外兼務 5 人

合 計	20 (20)	4 (5)	2 (2)	
-----	------------	----------	----------	--

※ ( ) 内数字は、平成 30 年度

## 2 短期入所生活介護実績

施設名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
鬼無里やすらぎ	190	2,347	182	2,321	198	2,524
大岡ことぶき荘	206	2,976	224	2,666	247	2,585
合 計	396	5,323	406	4,987	445	5,109

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

## 3 介護予防短期入所生活介護実績

施設名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
鬼無里やすらぎ	0	0	3	7	1	5
大岡ことぶき荘	13	48	3	10	20	66
合 計	13	48	6	17	21	71

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

### 別表 24 (事業No.57) 認知症対応型共同生活介護事業実績

#### 1 体制

施設名	利用定員	常勤職員数	備考
鬼無里介護サービスセンター なかよしハウス	6 (6)	2 (3)	外兼務 1 人

※ ( ) 内数字は、平成 30 年度

#### 2 実績

施設名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
鬼無里なかよしハウス	73	2,096	73	2,133	72	2,172

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

### 別表 25 (事業No.58) 訪問看護事業実績

#### 1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数
戸隠介護サービスセンター 訪問看護事業所	2 (2)	2 (2)

※ ( ) 内数字は、平成 30 年度

## 2 実績

事業所名		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
戸隠介護サービスセンター 訪問看護事業所		利用 人数	利用 回数	利用 人数	利用 回数	利用 人数	利用 回数
サー ビス	訪問看護	269	1,162	226	979	270	1,247
	介護予防訪問看護			23	37	31	52
	訪問看護療養	47	173	38	186	29	185

※平成 29 年度は、介護予防と合算数値

### 別表 26 (事業No.59、60、61) 障がい福祉サービス事業実績

#### 1 居宅介護・重度訪問介護・同行援護サービス実績

事業所名	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
ふれあい	301	3,041	223	2,103	—	—
東長野	493	5,201	560	6,638	697	8,091
安茂里	199	3,572	165	2,914	137	2,016
篠ノ井	316	4,815	354	3,471	406	3,386
戸隠	135	2,519	158	2,267	167	2,332
鬼無里	76	662	34	327	—	—
信州新町	70	838	77	678	89	1,424
中条	24	1,124	28	1,483	13	752
合 計	1,614	21,772	1,599	19,881	1,509	18,001

※利用人数は、3つのサービスにおける月毎の実利用人数合算数値。

※鬼無里はH30.10.1より戸隠のサテライトとしたため、H30.9.30までの実績。

※中条は、R1.10.1より信州新町のサテライトとしたため、R1.9.30までの実績。

※ふれあいは、H31.3.31をもってサービスを廃止し、東長野と統合した。

### 別表 27 (事業No.62) 長野市移動支援サービス事業実績

移動支援サービス	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数
	69	431	81	495	92	537

※利用人数は、月毎の実利用人数合算数値

### 別表 28 (事業No.63) 高齢者生活福祉センター受託事業実績

施設名	定員	項目	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元年度
鬼無里高齢者生活福祉センター (通称：やすらぎ)	19 人	実利用人数	13	13	13
		月平均利用人数	5.7	6.3	9.3
		延べ利用日数	1,895	2,267	3,053

施設名	定員	項目	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
大岡高齢者生活福祉センター (通称：ことぶき荘)	9人	実利用人数	3	5	4
		月平均利用人数	2	2.2	2.6
		延べ利用日数	658	684	702
中条高齢者生活福祉センター (通称：いこいハウス)	6人	実利用人数	6	9	7
		月平均利用人数	6	6.3	7.0
		延べ利用日数	2,052	2,237	2,439

**別表 29 (事業No.64) 高齢者共同生活支援施設受託事業実績**

施設名	定員	項目	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
戸隠栃原高齢者共同生活支援 施設 (通称：ひまわり1号)	6人	実利用人数	8	11	10
		月平均利用人数	3.1	2.6	3.0
		延べ利用日数	874	811	959
		食事提供食数	2,294	2,042	2,641
戸隠豊岡高齢者共同生活支援 施設 (通称：ひまわり2号)	8人	実利用人数	9	11	15
		月平均利用人数	3.9	4.4	5.2
		延べ利用日数	1,113	1,515	1,609
		食事提供食数	2,901	3,285	4,374

**運営方針 ウ 実績資料**

**別表 30 (事業 No68) 成年後見制度利用支援相談窓口開設事業実績**

1 相談件数

年度別	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
件数	7,025	7,030	8,091	9,316

2 法人後見事業受任件数

		平成 29 年度			平成 30 年度			令和元年度		
		新規	終了	累計	新規	終了	累計	新規	終了	累計
法定	後見	7	0	43	9	6	46	10	3	53
	保佐	7	1	15	6	3	18	6	1	23
	補助	0	1	8	3	1	10	2	0	12
	計	14	2	66	18	10	74	18	4	88
任意後見		3	0	5	1	0	6	2	0	8
合計		17	2	71	19	10	80	20	4	96

### 別表 31 (事業 No69) 日常生活自立支援事業実績

#### 1 実績

項目		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
相談件数	本部	12,463	11,814	13,829
	みなみ出張所	7,219	7,894	6,938
	合計	19,682	19,708	20,767
契約件数	本部	10	12	10
	みなみ出張所	7	4	8
	合計	17	16	18
事業開始からの延べ契約件数 ※		450	466	484

※平成 11 年 10 月より事業開始

#### 2 契約件数内訳

年度 対象区分	平成 29 年度			平成 30 年度			令和元年度		
	新規	解約	累計	新規	解約	累計	新規	解約	累計
認知症	3	10	49	4	14	39	11	8	42
知的障害	8	4	84	4	9	79	1	4	76
精神障害	7	8	81	8	9	80	5	9	76
その他	0	2	2	0	0	2	1	0	3
合計	18	24	216	16	32	200	18	21	197

### 別表 32 (事業No.70) 暮らしのあんしんサービス事業実績

#### 1 相談件数

年度別	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
相談件数	1,490	1,750	2,059

#### 2 契約件数内訳

年度 契約内容	平成 29 年度			平成 30 年度			令和元年度		
	新規	解約	累計	新規	解約	累計	新規	解約	累計
金銭管理	2	5	30	7	3	34	4	5	33
財産保全	0	1	8	1	0	9	1	2	8
合計	2	6	38	8	3	43	5	7	41

別表 33 (事業No.71) 生活福祉資金貸付事業実績

(金額：円)

資金種別	年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合支援資金		0	0	0	0	0	0
福祉資金		12	1,042,000	12	3,331,000	54	8,074,000
教育支援資金		9	8,528,000	10	3,051,000	12	7,710,000
不動産担保型生活資金		0	0	1	7,500,000	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0
合 計		21	9,570,000	23	13,882,000	66	15,784,000

別表 34 (事業No.72) 助け合い資金貸付事業実績

(金額：円)

年度	貸付額		前期末未償還額		当期償還金額		不納欠損処理額		未償還残額	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
平成13年度	1	50,000	1	46,500	0	0	0	0	1	46,500
平成14年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成15年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成16年度	1	50,000	1	26,000	1	3,000	0	0	1	23,000
平成17年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成18年度	1	50,000	1	4,000	1	4,000	0	0	0	0
平成19年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成20年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成21年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成22年度	2	200,000	1	27,000	1	10,000	0	0	1	17,000
平成23年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成24年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成25年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	350,000	4	103,500	3	17,000	0	0	3	86,500

※生活福祉資金貸付事業の対象要件が緩和・拡大されたことにより、平成27年度以降貸付停止。

別表 35 (事業No.73、74) きぼう相談事業及び法律相談事業実績

## 1 相談件数

実 施 状 況		年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
きぼう相談	一般相談	本部 毎週 火・金曜日 9:00 ~ 16:00	1,155	1,344	1,341
	一般相談	篠ノ井 毎週 月曜日 9:00 ~ 16:00	454	496	466



	合 計		1,609	1,840	1,807
専門相談	法律相談	本部 毎月 第3金曜日 13:00 ~ 15:00	36	38	41

## 2 きぼう相談内容内訳

内容	暮らし・ 住まい	健康	人間関係	法律	紹介・ 問合せ	よろず	相談所への 問合せ等	その他	合計
平成29年度	57	106	177	90	34	946	188	11	1,609
平成30年度	82	58	167	107	25	1,179	208	14	1,840
令和元年度	90	82	217	83	38	1,031	256	10	1,807

### 別表36（事業No.75）長野市生活就労支援センター「まいさぼ長野市」運営事業

#### 1 自立相談支援事業

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談件数（のべ）	7,085	7,712	7,288
相談者数（実数）	966	940	1,057
新規相談者数（実数）	681	610	695
就労者数（実数）	122	123	126

※相談者数は関係機関も含む。

#### 2 家計改善支援事業

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談件数（のべ）	917	1,350	1,509
新規相談者数（実数）	26	46	111
事業利用件数（のべ）	23	36	58

※相談者数は関係機関も含む。

※新規相談者数を令和元年度よりプラン作成件数に変更

#### 3 就労訓練支援事業

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談・助言・開拓等 件数（のべ）	282	326	805
就労訓練事業利用申込 件数（のべ）	0	2	8
就労準備支援事業利用 申込件数（のべ）	1	1	1

**別表 37 (事業No.77) 地域包括支援センター (指定介護予防支援事業、包括的支援事業、介護予防教室事業及び介護者教室事業) 実績**

1 体制

事業所名	常勤職員数	職員内訳		車両台数
地域包括支援センター 安茂里	5 ( 5 )	介護支援専門員 [うち主任介護支援専門員]	2 [2]	3 (3)
		保健員 (看護師)	1	
		社会福祉員 (社会福祉士)	2	
地域包括支援センター 豊野サブセンター	3 ( 3 )	介護支援専門員 [うち主任介護支援専門員]	1 [1]	2 (2)
		保健員 (看護師)	1	
		社会福祉員 (社会福祉士)	1	
地域包括支援センター 吉田	4 ( 4 )	介護支援専門員 [うち主任介護支援専門員]	2 [2]	3 (3)
		保健員 (看護師)	1	
		社会福祉員 (社会福祉士)	1	

※ ( ) 内数字は、平成 30 年度

2 実績

ア 相談件数

事業所名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
安茂里	1,372	1,446	1,698
豊野サブ	789	801	487
吉田	1,439	1,559	1,690
合 計	3,600	3,806	3,875

相談の内容

項 目	平成 29 年度			平成 30 年度			令和元年度		
	安茂里	豊野	吉田	安茂里	豊野	吉田	安茂里	豊野	吉田
介護保険関係	863	459	1,256	941	477	1,161	1,099	344	1,383
その他在宅福祉サービス	208	211	102	240	205	144	352	109	99
医療に関すること	155	204	96	106	230	295	235	76	217
施設・住まいに関する こと	119	109	42	67	105	77	117	21	99
高齢者虐待	7	9	4	21	12	9	13	1	41
成年後見制度	13	5	4	10	12	8	15	27	7
消費者被害	0	3	0	11	1	0	1	0	8

項 目	平成 29 年度			平成 30 年度			令和元年度		
	安茂里	豊野	吉田	安茂里	豊野	吉田	安茂里	豊野	吉田
苦情対応・調整	16	0	0	6	0	1	5	0	3
その他	238	56	48	232	54	263	280	92	197
合 計	1,619	1,056	1,552	1,634	1,096	1,958	2,117	670	2,054

※1件の相談で内容が多岐にわたる場合、それぞれの項目でカウントしているため、合計は前表の相談件数と一致しない。

#### イ 高齢者実態把握人数

事業所名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
安茂里	203	215	200
豊野サブ	168	111	81
吉田	157	143	170
合 計	528	469	451

#### ウ 介護予防サービス計画書作成件数 ※居宅介護支援事業所へ業務委託分は除く

事業所名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
安茂里	1,029	1,124	1,284
豊野サブ	633	489	593
吉田	941	1,029	996
合 計	2,603	2,642	2,873

#### エ 介護予防ケアマネジメント作成件数 ※居宅介護支援事業所へ業務委託分は除く

事業所名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
安茂里	1,443	1,662	1,645
豊野サブ	440	387	290
吉田	812	868	641
合 計	2,695	2,917	2,576

#### オ 地域包括ケア推進ネットワーク会議

事業所名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
安茂里	2	1	1
豊野サブ	2	2	1
吉田	2	2	1
合 計	6	5	3

カ 介護者教室

事業所名		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
安茂里	開催回数	3	3	3
	参加人数	61	75	59
豊野サブ	開催回数	3	3	2
	参加人数	54	72	26
吉田	開催回数	4	3	2
	参加人数	95	83	58
合計	開催回数	10	9	7
	参加人数	210	230	143

キ 介護予防教室

事業所名		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
安茂里	開催回数	20	19	18
	参加人数	331	500	327
豊野サブ	開催回数	9	9	9
	参加人数	135	114	162
吉田	開催回数	9	9	9
	参加人数	201	463	271
合計	開催回数	38	37	36
	参加人数	667	1,077	760

**別表 38 (事業No.78) 在宅介護支援センター (在宅介護に関する総合相談事業、高齢者実態把握調査事業、介護予防教室事業及び介護者教室事業) 事業実績**

1 体制

事業所名	常勤職員数	車両台数	備考
鬼無里在宅介護支援センター	3	1	兼務 3 人
大岡在宅介護支援センター	3	1	兼務 3 人
合計	6 (6)	2 (2)	

※ ( ) 内数字は、平成 30 年度

2 実績

ア 相談件数

事業所名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
鬼無里	550	433	576
大岡	432	420	420
合計	982	853	996

相談の内容

項 目	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	鬼無里	大岡	鬼無里	大岡	鬼無里	大岡
介護保険関係	231	175	183	150	274	148
その他在宅福祉サービス	164	67	271	76	398	103
医療に関すること	15	243	121	254	95	274
施設・住まいに関すること	17	33	103	12	60	13
高齢者虐待	0	0	0	0	1	1
成年後見制度	1	0	1	0	1	1
消費者被害	3	2	1	10	2	10
苦情対応・調整	0	1	0	6	0	2
その他	211	170	64	154	79	196
合 計	642	691	744	662	910	748

※1件の相談で内容が多岐にわたる場合、それぞれの項目でカウントしているため、合計は前表の相談件数と一致しない。

イ 高齢者実態把握件数

事業所名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
鬼無里	332	173	275
大岡	367	360	362
合 計	699	533	637

ウ 介護者教室

事業所名		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
鬼無里	開催回数	3	3	4
	参加人数	35	47	63
大岡	開催回数	3	2	4
	参加人数	37	22	74
合計	開催回数	6	5	8
	参加人数	72	69	137

エ 介護予防教室

事業所名		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
鬼無里	開催回数	12	10	8
	参加人数	140	126	114

大岡	開催回数	9	9	9
	参加人数	122	118	117
合計	開催回数	21	19	17
	参加人数	262	244	231

### 事業理念 3

状況に応じた柔軟で迅速な取組の実施

運営方針 ア 実績資料

#### 別表 39 (事業No.81) 苦情受付件数

苦 情 の 内 容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
職員の接遇（態度）に関する事	8	7	10
公用車の運転（駐車）方法に関する事	5	6	7
提供しているサービスに関する事	6	12	14
施設（設備・利用）に関する事	1	0	0
その他	5	3	1
合 計	25	28	32

※その他は介護サービスの契約に関する事、電話の自動応答メッセージに関する事など

